

バスケットボール  
真の日本一が決まる運命の七日間。

# 天皇杯

## 天皇杯

EMPEROR'S CUP BASKETBALL 2025-26  
FINAL ROUND

2026.1.6 tue - 1.12 mon

国立代々木競技場第一体育館・第二体育館

## 皇后杯

EMPEROR'S CUP BASKETBALL 2025-26  
FINAL ROUND

2026.1.5 mon - 1.11 sun

国立代々木競技場第一体育館・第二体育館・駒沢体育館

### OFFICIAL PROGRAM

■主催 / 主管:公益財団法人日本バスケットボール協会 ■共催:共同通信社

協賛

三井不動産  
MITSUI FUDOSAN



molten  
Feel the e-motion

三井住友信託

SoftBank

街の真ん中にスポーツがある。

スポーツが街を動かす

エネルギーになっている。

ここは LaLa arena TOKYO-BAY。スポーツの大会やライイベントが行われる大型アリーナです。なぜ街の真ん中にアリーナが? それは三井不動産が街づくりにスポーツの力を活かしているから。スポーツの楽しさや感動をもっと日常的に味わってもらいたい。そして、スポーツをする人、観る人、応援する人のつながりを生み出して街をもっと盛り上げていきたい。スポーツのワクワクを街のエネルギーに変えているんです。スポーツで街が一つになるなんて、ちょっと素敵じゃないですか?



さあ、街から未来をかえよう

BE THE  
CHANGE

三井不動産  
MITSUI FUDOSAN

AKATSUKI  
JAPAN

JBAオフィシャル街づくりパートナー



公益財団法人日本バスケットボール協会

会長

島田 慎二

2026年の新春を迎え、全国のバスケットボールファミリーの皆様、明けましておめでとうございます。

このたび、「第92回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会 ファイナルラウンド」を1月5日（月）～11日（日）の期間、国立代々木競技場第一体育館・第二体育館、ならびに駒沢体育館において盛大に開催できまことを大変うれしく思います。

皇后杯の名を冠し、日本最高権威の大会として親しまれてきた本大会は、今大会より大会方式を一部変更しました。ファイナルラウンドでは、都道府県およびブロックラウンドを勝ち抜いた各地区の代表に加え、Wリーグや社会人連盟、全日本大学連盟からそれぞれ推薦された精鋭、計24チームが日本一の座をかけてしのぎを削ります。

それぞれのチームの名誉をかけた、またベテランから若手までのすべての選手がその実力をぶつけ合う、ファンの皆様が一瞬たりとも目を離せなくなるような熱く魅力的な戦いを期待しています。ファンの皆様におかれましては、会場で直接、あるいはテレビやインターネット配信を通じて、熱戦の数々を存分にお楽しみください。

当協会は「バスケで日本を元気に」を理念に掲げ、それぞれのバスケットボールとの関わりを起点に、仲間や地域の皆様とともに目指す未来に向けた取り組みを行っていきたいと考えています。年齢や性別、カテゴリー等の垣根を越えてバスケットボールファミリーが一丸となり、一人ひとりの力を“ONE Basketball”の大きな想いへとつなげ、ともに未来を切り拓いていきましょう。

大会後にはWリーグのシーズンが佳境に向かいます。また女子日本代表チームは、2026年にドイツで開催予定のFIBA 女子バスケットボール ワールドカップ2026への出場権をかけ、3月にその予選トーナメントに向かいます。より多くの皆様に選手やチームを応援していただき、日本のバスケットボール界がもっともっと盛り上がっていくことを願っています。

結びに、今大会の開催にあたりご尽力いただきます方々、またこれまでの歴史のなかで本大会に関わってくださったすべての皆様方に敬意を表しますとともに、今大会の成功を祈念して、ごあいさつといたします。



**molten**<sup>®</sup>  
*feel the emotion*

スポーツの報酬は感情だ。  
動き出せ。つながり続けよう。感情に向き合え。

## ◎ 全日本選手権大会について ◎

1900年前後、日本にバスケットボールがアメリカより伝えられて以来、YMCAを中心に日本全国で試合が行われるようになった。その結果、1921(大正10)年11月、大日本体育協会(現・日本スポーツ協会)により全日本選手権大会が主催され、東京大学農学部駒場グラウンドで2日間にわたり、記念すべき第1回の大会が開催された。その後、大日本バスケットボール協会(現・日本バスケットボール協会)が1930(昭和5)年に発足。1931(昭和6)年の第10回大会からは日本バスケットボール協会主催となり、女子の日本選手権も併せて開催し、現在に至る。

初回大会こそ各地のYMCAが参加チームだった本大会だが、第2回大会以降はジュニア部門も併せて行い、旧制中学、大学チームも参加。各ブロックの代表も参加し、第二次世界大戦後は実業団チームも台頭。大会名称も1947(昭和22)年から全日本総合選手権大会に改めた。以後、トップリーグやクラブなどの社会人チームが参加し、日本最強のチームを決定する大会となった。

そして2017(平成29)年、「全日本バスケットボール選手権大会」と大会名称を改めるとともに、大会方式を変更。スポーツ文化としてのバスケットボールの価値向上、そして日本バスケットボール界の最高権威である「天皇杯・皇后杯」の大会価値向上を目的とし、都道府県レベルからの一貫したトーナメント制が実現し、名実ともに「真の日本一」を争う大会として生まれ変わった。

## ◎ 天皇杯・皇后杯とは ◎

天皇杯は、国民によく普及しているスポーツの全国大会に対し、スポーツの振興のために宮内庁より下賜され、皇后杯も同条件を満たし、なおかつ参加者が女性の場合に限り下賜されるもの。

本大会に天皇杯・皇后杯が下賜されたのは1948(昭和23)年のことだった。

戦前から毎年開催されていた全日本選手権大会も、第二次世界大戦のあおりを受けて1942(昭和17)年より、1943(昭和18)年の男子第21回・女子第12回大会を除き、1946(昭和21)年までは開催中止となった。

しかし、戦後間もない1947(昭和22)年、バスケットボールを通じて社会復興に貢献し、やがては国際社会に復帰することと、さらなるバスケットボールの国内の拡充を目標に掲げ、本大会は全日本総合選手権大会として復活開催を果たした。その志のシンボルとして天皇・皇后両杯を切望した結果、1948(昭和23)年に両杯が日本バスケットボール協会に下賜され、同年に開催された男子第24回・女子第15回全日本総合選手権大会以降、大会の優勝チームに授与されることとなった。

なお、天皇杯・皇后杯はスポーツ団体としては2025(令和7)年12月末現在で26団体に下賜されており、そのうち日本スポーツ協会、日本サッカー協会など13団体が両杯を下賜されている。また、2018(平成30)年には、日本車いすバスケットボール連盟にも両杯が下賜された。

バスケットボールは単独競技として最初に天皇杯、皇后杯をそろって下賜された団体であり、それゆえに本大会は真の日本一を競い合う、非常に由緒ある大会となっている。



天皇杯



皇后杯

三井住友信託銀行は、  
バスケットボール日本代表を応援しています。



AKATSUKI  
JAPAN



© シンジル & タクセル



©日本バスケットボール協会

 三井住友信託

# 皇后杯 PREVIEW

EMPRESS'S CUP BASKETBALL 2025-26

## 今大会は24チームによるファイナルラウンドに 富士通の連覇か、他チームが阻止するか

4チームによるファイナルラウンドという新レギュレーションで開催される「第92回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会」。連覇を狙う前回女王・富士通レッドウェーブを中心に、Wリーグ首位のトヨタ自動車 アンテロープス、虎視眈々と王座奪還を狙うデンソー アイリス、ENEOSサンフラワーズら実力派チームが名を連ねる。さらに大学、社会人、地方ブロックの代表がカテゴリーを超えて激突する。一発勝負のトーナメントを勝ち抜き、皇后杯を手にするのはどのチームになるだろうか。

### 連覇を目指す前回女王の富士通をはじめ デンソーやアイシンら実力派がそろう

レギュレーションが改編となり、24チームでファイナルラウンドを戦うこととなった「第92回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会」。Wリーグや大学、高校、社会人などカテゴリーの異なるチームが東京に集い日本一を争う。

大会を占う上で中心となるのはやはりWリーグのチームだろう。今大会は10チームが出場する。

前回大会では下馬評を覆して準優勝に輝いたアイシン ウィングスは左上ブロックに。前回の銀メダル獲得に貢献した渡嘉敷来夢は元気な姿を見せており、岡本彩也花や野口さくらの活躍も見込まれる。Wリーグでは白星に恵まれていないが、シーズン途中からヘッドコーチに就任したBTテープス氏(元富士通ヘッドコ



ーチ)の下、一戦必勝で頂点を目指す。

左上ブロックにはデンソーアイリスも属している。デンソーは、高田真希、赤穂ひまわり、川井麻衣ら経験豊富な選手たちに加え、今野紀花や薮未奈海と、着実にレベルアップした姿を見せている選手たちの出来もカギを握る。インサイドとアウトサイドともに分厚い選手層が特長で、安定した強さを発揮すれば2年ぶりの優勝も見えてくる。

このブロックには、九州ブロックを勝ち抜いた福岡大学附属若葉高校や大学界トップの東京医療保健大学があり、中でも東京医療保健大学は社会人やWリーグチーム相手にどのような戦いを見せるか興味が尽きない。

左下のブロックには優勝候補筆頭に挙げられる富士通レッドウェーブが構える。町田瑠唯、宮澤夕貴らを起点に林咲希、赤木里帆、ジョシュア ンフォンノボン テミトペ、宮下希保と役割をし



白崎みなみ  
(シャンソン化粧品)



宮崎早織 (ENEOS)



山本麻衣  
(トヨタ自動車)

っかりと果たす選手たちが多く、4シーズンぶりの復帰となった前澤瀬もブランクを感じさせない動きでチームを引っ張っている。藤本愛妃、内尾聰菜の復帰も大きく、連覇に向けて視界は良好だ。

その富士通への挑戦権を得るのは福井工業大学附属福井高校と白鷗大学との勝者。白鷗大学は実績も十分で手強い存在となる。

1回戦から登場するのは東京羽田ヴィッキーズだ。栗林未和の高さや本橋菜子のうまさが持ち味で、安定感を増した岡田真那美らを中心に初戦突破、そして2回戦で対戦するトヨタ紡織 サンシ

ヤインラビッツに食らいつきたいところ。逆にトヨタ紡織は互いに勝ち上がれば準々決勝で富士通との対戦となるため、東藤なな子を筆頭にチームのケミストリーをより高めて大会に臨みたい。Wリーグでの勢いを加味すると、今大会の最も怖いダークホースと言えるだろう。

**Wリーグプレミア首位のトヨタ自動車が一歩リード？  
フューチャーの三菱電機、日立ハイテクも不気味な存在**

右上ブロックはWリーグレギュラーシーズン前半戦を終えて



東藤なな子 (トヨタ紡織)



渡嘉敷来夢 (アイシン)



中野由希  
(日立ハイテク)



岡田真那美 (東京羽田)



澤 知央 (三菱電機)



大脇 晴 (東京医療保健大学)

首位のトヨタ自動車 アンテロープスとシャンソン化粧品 シャンソンVマジックを中心に展開されそうだ。ともに2回戦からの出場で、トヨタ自動車は山梨学院大学と笠戸ブレイブスターの勝者と、シャンソンは四日市メリノール学院高校と山形銀行の勝者と対戦する。勝ち上がれば準々決勝で相まみえることとなるが、トヨタ自動車はオコンクウォ スーザン アマカ、シャンソンはンウォコ マーベラス アダク ビクターと、どちらも大黒柱のセンターを擁している。アウトサイドではトヨタ自動車は安間志織と山本麻衣、シャンソンは白崎みなみに峰晴寿音と得点力の高いガード陣がいることも共通だ。Wリーグの直接対決ではトヨタ自動車が2勝しているが、一発勝負の皇后杯では予想は不能といつていだろう。

右下ブロックには3大会ぶりの優勝を狙うENEOSサンフラワーズがあり、初戦となる2回戦は三菱電機 コアラーズと秋田銀行の勝者と対戦する。

ENEOSは、チーム在籍12年目の宮崎早織を筆頭に新加入の馬瓜エブリンやプレッチャエル レイン アシュテンらがポイントゲッターで、高さを生かした梅沢カディシャ樹奈、アウトサイドシュートが得意の星杏璃など戦力はそろっている。

そのENEOSに対抗するのは三菱電機か。得点源のサイーシャ・ゴリーを主体に一矢報いたいところだ。

また、このブロックには日立ハイテク クーガーズも打倒ENEOSをもくろんでいる。まずは初戦となる2回戦に勝ち、ENEOS戦に全力を注ぎたい。日立ハイテクは、インサイドとアウトサイドとがバランス良く得点できるメンバー構成のため、相手にとって厄介なチームでもある。

Wリーグでの戦いが戦況を占う上で一つの指針にはなるが、これまでも幾度となく番狂わせがあった皇后杯だけに、今大会も決勝までの争いは一戦たりとも目が離せない展開となるだろう。

## 第92回 皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会 ファイナルラウンド出場チーム

トップリーグ 推薦枠	Wプレミア1位	富士通 レッドウェーブ
	Wプレミア2位	デンソー アイリス
	Wプレミア3位	シャンソン化粧品 シャンソンVマジック
	Wプレミア4位	ENEOS ENEOSサンフラワーズ
	Wプレミア5位	トヨタ自動車 アンテロープス
	Wプレミア6位	トヨタ紡織 サンシャインラビッツ
	Wプレミア7位	アイシン ウィングス
	Wプレミア8位	日立ハイテク クーガーズ
	Wフューチャー1位	東京羽田ヴィッキーズ
	Wフューチャー2位	三菱電機 コアラーズ
社会人 推薦枠	1位	ミツウロコ
	2位	山形銀行
	1位	東京医療保健大学
大学 推薦枠	2位	白鶴大学
	3位	山梨学院大学
	北海道	北翔大学
ブロック 代表枠	東北	秋田銀行
	関東	江戸川大学
	北信越	福井工業大学附属福井高等学校
	東海	四日市メリノール学院高等学校
	近畿	滋賀銀行LakeVenus
	中国	笠戸ブレイブスター
	四国	今治オレンジブロッサム
	九州	福岡大学附属若葉高等学校

- トップリーグ推薦枠…前シーズンの成績を基にWプレミアに8枠、Wフューチャーに2枠
- 社会人推薦枠…前シーズンの高松宮記念杯 全日本社会人バスケットボールプレミアムチャンピオンシップ優勝・準優勝チームに1枠ずつ
- 大学推薦枠…前年度の全日本大学バスケットボール選手権大会（インカレ）優勝チームが所属する地区の、当該年度の選手権大会（春季大会）上位3チームに1枠ずつ
- ブロック代表枠…原則、当該年度の11月までにブロックラウンド（9ブロック）を開催し、各ブロックに1枠ずつ

# バスケで日本を元気に！

## JAPAN BASKETBALL STANDARD



「JAPAN BASKETBALL STANDARD」は、日本のバスケットボールの未来を輝かせるために、バスケットボールに関わるすべての人が「バスケで日本を元気に！」というひとつの理念にむかい、ひとつのチームとして持つべき「志」、目指すべき「目標」、行うべき「行動」を示したもので、日本バスケットボール協会が設立100周年を迎える2030年にむけてビジョンを描き、目指すべき姿を掲げています。

世界で活躍する選手・審判・コーチ・スタッフの輩出

日本代表が世界の強豪でありつづける



バスケ JBS



### SPORTS

【競技と組織】バスケが日本スポーツをリードするにふさわしい競技であり続けるために「国際競技力の向上」や「競技・事業環境の進化と適応」、「クリーンな組織体制の強化」を進める。

### CULTURE

【文化】バスケが文化として日本全体に根付くことで、「する」「観る」「携わる」「語る」「育む」あらゆる人々にとって身近な存在であり続け、形成される無数のコミュニティで、すべての人の毎日を彩る。

### SOCIETY

【社会】バスケが地域や産業活性化に必要不可欠なインフラになることで、これからもずっと社会に受け入れられ、未来に向けた持続可能で豊かな社会を実現する。

### JAPAN BASKETBALL STANDARD 2025

「バスケで日本を元気に！」  
これは、どんなに時代が移り変わっても、決してぶれることのない理念であり、原点です。

しかし、2016年にJBSを策定してから10年が経とうとす今、「バスケで日本を元気に！」が果たす役割、求められる役割は時代の変化とともに多様化しています。

JBS2025では、「バスケで日本を元気に！」の理念を具現化し、その広がりを正しく捉え、バスケットボール界が果たすべき責任とその価値を再確認し、未来へつなげるための新たなスタンダードとして、「SPORTS: 競技と組織」、「CULTURE: 文化」、「SOCIETY: 社会」の3つの領域を設定し、それそれぞれのビジョンを策定しました。

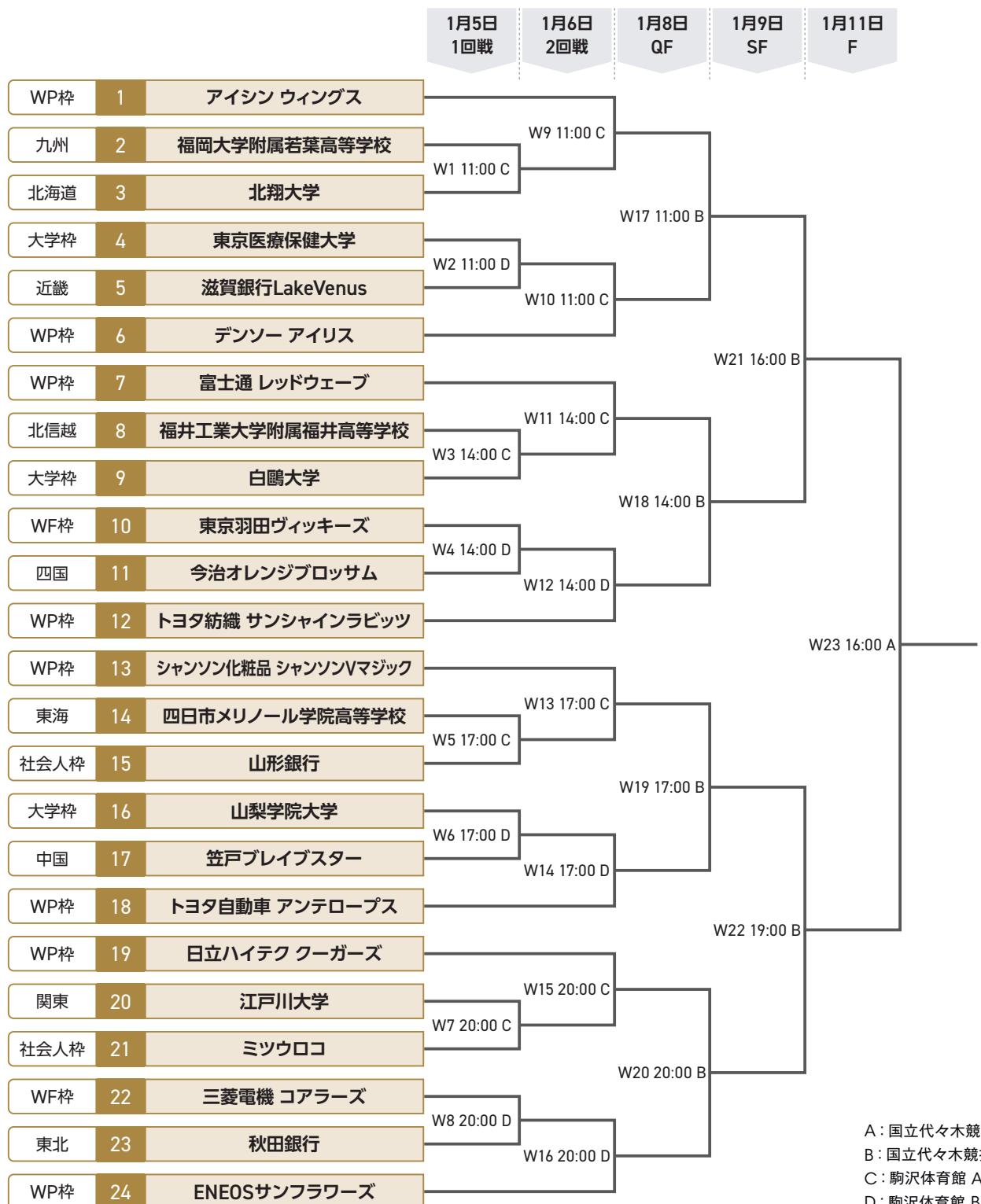
また、それぞれの領域に共通する概念として、「DIVERSITY & INCLUSION (多様性と包括)」、「COMPLIANCE & INTEGRITY (法令順守と誠実さ)」、「DIGITAL TRANSFORMATION (デジタル変革)」を掲げています。

JBS2025に描いた未来を現実のものとし、「バスケで日本を元気に！」を実現するために、JBAは、B.LEAGUE、W.LEAGUE、都道府県協会、各種連盟、パートナー、ファンや地域の方々など、すべてのバスケットボールファミリーの皆さんとともに、より良い日本のバスケットボールの未来を創り上げてまいります。



バスケで  
日本を元気に！

## FINAL ROUND



A : 国立代々木競技場第一体育館  
 B : 国立代々木競技場第二体育館  
 C : 駒沢体育館 Aコート  
 D : 駒沢体育館 Bコート

## 皇后杯ファイナルラウンド テレビ放送・インターネット動画配信予定

## ○放送予定

2026年1月9日(金) 準決勝 1試合目

NHK BS 16:00～ 生中継

2026年1月9日(金) 準決勝 2試合目

NHK BS 23:45～ 録画中継

2026年1月11日(日)

NHK Eテレ 16:00～ 生中継

※NHK ONEでも同時・見逃し配信



## ○配信予定

バスケットLIVE

ファイナルラウンド全試合  
ライブ配信(見逃し配信あり)



# アイシン ウィングス

Wプレミア7位

皇后杯最高成績

準優勝

(2024年度)



## トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

前回大会で準優勝に輝いたアイシン ウィングス。その原動力となった渡嘉敷来夢や岡本彩也花、野口さくららは今年も健在で、特に渡嘉敷は今シーズンWリーグの得点ランキング1位につけ、自らの得点でチームをけん引している。渡嘉敷に次いで得点を挙げているキャプテンの岡本やスピード抜群の平末明日香、今シーズン加入した高橋未来も活力を与える存在。11月には今シーズンよりディレクターとして加入していたBTテープス氏がヘッドコーチに就任。前回の皇后杯では富士通の指揮官として優勝を飾ったテープスHCの手腕にも期待がかかる。Wリーグでは黒星が先行しているものの、一発勝負の皇后杯でチャンスをつかむ可能性は大いにある。

<b>1</b> C 渡嘉敷 来夢 トカシキ ラム 身長 193cm 生年月日 1991/6/11 出身校 桜花学園高等学校	<b>2</b> SG 岡本 彩也花 オカモト サヤカ 身長 161cm 生年月日 1991/4/19 出身校 桜花学園高等学校	<b>3</b> PF アミラ ジャネイ コリンズ 身長 190cm 生年月日 2000/4/3 出身校 ノースカロライナ州立大学	<b>5</b> SG 坂本 雅 サカモト ミヤビ 身長 170cm 生年月日 2000/4/8 出身校 愛知学泉大学
<b>7</b> PF ナヤ ベッカー 身長 188cm 生年月日 2000/10/14 出身校 ウェイクフォレスト大学	<b>9</b> PG 高橋 未来 タカハシ ミク 身長 169cm 生年月日 2001/4/30 出身校 京都精華学園高等学校	<b>10</b> SF 野口 さくら ノグチ サクラ 身長 182cm 生年月日 2001/2/24 出身校 安城学園高等学校	<b>13</b> SG 平末 明日香 ヒラスエ アスカ 身長 164cm 生年月日 1998/3/5 出身校 東京医療保健大学
<b>14</b> SF 近藤 京 コンドウ ミヤコ 身長 171cm 生年月日 2003/5/24 出身校 安城学園高等学校	<b>18</b> PG 木下 菜月 キノシタ ナツキ 身長 164cm 生年月日 2002/10/16 出身校 日本経済大学	<b>20</b> PF 山口 奈々花 ヤマグチ ナナカ 身長 182cm 生年月日 2001/7/22 出身校 鶴学園高等学校	<b>22</b> PF 齋藤 利恵 サイトウ リエ 身長 176cm 生年月日 2002/5/22 出身校 愛知学泉大学
<b>25</b> PG 坂本 美樹 サカモト ミキ 身長 162cm 生年月日 1994/12/26 出身校 立命館大学	<b>33</b> C 大館 真央 オオダテ マオ 身長 186cm 生年月日 2001/9/11 出身校 東海大学九州		

## ■ STAFF

<b>HEAD COACH</b> 	<b>ヘッドコーチ</b> BTテープス	<b>ビデオコーディネーター</b> 君塚 祐美 キミツカ ユミ	<b>トレーナー</b> 上田 智子 ウエダ トモコ
<b>アシstantコーチ</b> 藤丸 勇海	<b>アシstantコーチ</b> フジマル イサミ	<b>ストレングスコーチ</b> 梅壼 勝英 ウメザキ ショウエイ	<b>マネージャー</b> 大館 佳央 オオダテ カオ
<b>アシstantコーチ兼通訳</b> 島田 裕文	<b>アシstantコーチ兼通訳</b> シマダ ヒロミ	<b>トレーナー</b> 畔上 みか アゼガミ ミカ	<b>マネージャー</b> 河村 理佳 カワムラ リカ



# 福岡大学附属若葉高等学校

九州ブロック代表

皇后杯最高成績  
ファイナルラウンド  
初出場



## ブロック代表枠

### セカンドラウンド結果(ベスト4以上)

福岡1位	日本経済大学	76	福岡大学附属若葉高等学校
熊本1位	鶴屋百貨店	79	
鹿児島1位	鹿屋体育大学	80	
福岡2位	福岡大学附属若葉高等学校	77	

インターハイ、ウインターカップとベスト8進出がこれまでの最高成績。今年度はU18カテゴリーでの全国大会出場は果たせなかったものの、皇后杯セカンドラウンド九州ブロックでは鹿屋体育大学、鶴屋百貨店など上位カテゴリーのチームを退けファイナルラウンド初進出を遂げた。トランジションの速いスタイルで初戦突破を狙う。

<b>4</b>	<b>SF</b>	
<b>太田 妃優</b>		
オオタ ヒユ		
身長 171cm		
生年月日 2007/10/3		
出身校 四日市メリノール学院中学校		

<b>5</b>	<b>PF</b>	
<b>猿木 心和</b>		
サルキ コヨリ		
身長 173cm		
生年月日 2007/8/4		
出身校 菊陵中学校		

<b>6</b>	<b>PG</b>	
<b>高木 楓夏</b>		
タカギ フウカ		
身長 160cm		
生年月日 2007/6/30		
出身校 日章学園中学校		

<b>7</b>	<b>SG</b>	
<b>小坂 瑞希</b>		
コサカ ミズキ		
身長 160cm		
生年月日 2007/10/30		
出身校 長崎純心中学校		

<b>8</b>	<b>PF</b>	
<b>小川 星奈</b>		
オガワ セナ		
身長 171cm		
生年月日 2008/7/17		
出身校 判田中学校		

<b>9</b>	<b>PG</b>	
<b>内野 由愛</b>		
ウチノ ユラ		
身長 167cm		
生年月日 2009/7/22		
出身校 荒尾海陽中学校		

<b>10</b>	<b>SG</b>	
<b>小宮 愛結</b>		
コミヤ アユ		
身長 160cm		
生年月日 2009/9/6		
出身校 菊陵中学校		

<b>11</b>	<b>SG</b>	
<b>渡邊 利恵菜</b>		
ワタナベ リエナ		
身長 163cm		
生年月日 2008/8/10		
出身校 那珂川北中学校		

<b>12</b>	<b>SF</b>	
<b>柏田 好海</b>		
カシワダ コノミ		
身長 165cm		
生年月日 2009/7/19		
出身校 碩田学園中学校		

<b>13</b>	<b>SF</b>	
<b>大石 雅巳</b>		
オオishi マキ		
身長 165cm		
生年月日 2009/9/10		
出身校 山里中学校		

<b>14</b>	<b>C</b>	
<b>田上 杏</b>		
タガミ アン		
身長 173cm		
生年月日 2008/11/20		
出身校 京陵中学校		

<b>15</b>	<b>C</b>	
<b>鈴木 瑠香南</b>		
スズキ ココナ		
身長 177cm		
生年月日 2007/7/11		
出身校 四日市メリノール学院中学校		

<b>16</b>	<b>SF</b>	
<b>佐藤 光</b>		
サトウ アリ		
身長 168cm		
生年月日 2008/6/7		
出身校 板付中学校		

<b>17</b>	<b>SF</b>	
<b>野元 香南子</b>		
ノモト カナコ		
身長 167cm		
生年月日 2008/5/27		
出身校 花陵中学校		

<b>18</b>	<b>PF</b>	
<b>坂井 美月</b>		
サカイ ミヅキ		
身長 170cm		
生年月日 2009/9/2		
出身校 那珂川南中学校		

## ■ STAFF



<b>HEAD COACH</b>	<b>ヘッドコーチ</b>	<b>池田 憲二</b>	<b>イケダ ケンジ</b>
<b>コーチ</b>			
		<b>池下 陽菜</b>	<b>イケシタ ハルナ</b>
<b>マネージャー</b>			
		<b>山下 友梨恵</b>	<b>ヤマシタ ユリエ</b>

<b>トレーナー</b>	<b>坂井 哲平</b>	<b>サカイ テッペイ</b>
--------------	--------------	-----------------



# 北翔大学

北海道ブロック代表

皇后杯最高成績  
ファイナルラウンド  
出場



## ブロック代表枠

### セカンドラウンド結果(ベスト4以上)

日本航空高等学校北海道	87
星槎道都大学	62
札幌大学	57
北翔大学	58

※勝利チーム辞退のため繰り上げ  
北翔大学 67

2015年度には北海道総合選手権を制し、皇后杯ファイナルラウンドに出場。今年度は北海道総合選手権決勝で敗れたものの、優勝した日本航空高等学校北海道の辞退により10年ぶりのファイナルラウンド出場権を得た。粘り強いディフェンスから速い展開に持ち込み、一つでも多く勝ち星を積み上げたい。

<b>3 PG</b> 草彌 こまち クサナギ コマチ 身長 156cm 生年月日 2006/9/9 出身校 県立湯沢翔北高等学校	<b>5 SG</b> 河治 穂香 カワジ ホノカ 身長 154cm 生年月日 2007/2/7 出身校 旭川龍谷高等学校	<b>6 PG</b> 佐藤 留衣 サトウ ルイ 身長 154cm 生年月日 2006/7/14 出身校 北見柏陽高等学校	<b>10 SF</b> 高橋 瑠羽 タカハシ ルウ 身長 170cm 生年月日 2005/3/11 出身校 県立湯沢翔北高等学校
<b>11 C</b> 倉田 夏 クラタ ナツ 身長 175cm 生年月日 2004/7/29 出身校 鹿農学園大学附属 とわの森三愛高等学校	<b>13 SF</b> 野呂田 凪 ノロタ ナグ 身長 168cm 生年月日 2006/6/17 出身校 県立秋田中央高等学校	<b>15 SF</b> 大沼 華楓 オオヌマ カエデ 身長 174cm 生年月日 2005/2/14 出身校 県立湯沢翔北高等学校	<b>17 SG</b> 目黒 結子 メグロ ユイコ 身長 159cm 生年月日 2006/6/14 出身校 県立秋田中央高等学校
<b>23 PG</b> 三浦 華心 ミウラ カコ 身長 160cm 生年月日 2006/2/22 出身校 県立秋田中央高等学校	<b>25 SG</b> 高山 陽菜 タカヤマ ヒナ 身長 162cm 生年月日 2005/5/23 出身校 吉小牧総合経済高等学校	<b>28 SG</b> 飯田 咲礼 イイダ サクラ 身長 153cm 生年月日 2006/6/14 出身校 鹿農学園大学附属 とわの森三愛高等学校	<b>30 PG</b> 岩佐 紗奈 イワサ サナ 身長 163cm 生年月日 2004/4/21 出身校 鹿農学園大学附属 とわの森三愛高等学校
<b>32 PG</b> 原田 葵 ハラダ アオイ 身長 163cm 生年月日 2006/8/23 出身校 北星学園女子高等学校	<b>33 SG</b> 舟木 佑樹乃 フナキ ユキノ 身長 168cm 生年月日 2007/1/12 出身校 鹿農学園大学附属 とわの森三愛高等学校	<b>73 SF</b> 田口 青遼 タグチ ハル 身長 166cm 生年月日 2005/10/12 出身校 県立湯沢翔北高等学校	<b>88 PF</b> 坂本 萌依 サカモト メイ 身長 170cm 生年月日 2005/12/17 出身校 県立湯沢翔北高等学校

## ■ STAFF

<b>HEAD COACH</b> 	<b>顧問/ヘッドコーチ</b> 横山 茜理 ヨコヤマ アカリ	<b>トレーナー</b> 吉田 真 ヨシダ マコト	<b>学生スタッフ</b> 芹野 想 セリノ ココロ
	<b>ファーストアシstantコーチ</b> 松川 理子 マツカワ リコ	<b>アシstantトレーナー</b> 石川 凌 イシカワ リョウ	<b>学生スタッフ</b> 前田 恵里 マエダ エリ
	<b>トレーナー</b> 吉田 昌弘 ヨシダ マサヒロ	<b>マネージャー</b> 塚原 詩乃 ツカハラ シノ	



# 東京医療保健大学

大学1位

皇后杯最高成績

ベスト8

(2022年度)



## 大学推薦枠

### 2025年度関東大学女子選手権結果(ベスト4以上)

白鶲大学	94	東京医療保健大学
筑波大学	63	
山梨学院大学	55	山梨学院大学
東京医療保健大学	72	
山梨学院大学	85	山梨学院大学
筑波大学	62	

3位決定戦

今年度は春の関東選手権で3年ぶりの優勝を果たすと、秋の関東リーグ、そしてインカレも制し、大学女王の座に返り咲いた。皇后杯では2022年度に予選でWリーグ勢を破って決勝トーナメントに出場。1回戦で富士通と大接戦を演じた。今大会では鍛え上げたフィジカル、どこからでも点の取れるオフェンス力で優勝を目指す。

<b>0</b> C ロー・ジョバ 身長 187cm 生年月日 2006/7/3 出身校 慶誠高等学校	<b>2</b> SG 長谷川 茜 身長 165cm 生年月日 2004/8/20 出身校 明秀学園日立高等学校	<b>4</b> SG 戸塚 妃莉 身長 172cm 生年月日 2006/5/9 出身校 市立前橋高等学校	<b>5</b> PG 粕野 夏海 カセノ ナツミ 身長 173cm 生年月日 2005/5/20 出身校 岐阜女子高等学校
<b>6</b> C ジュフ・ハディジャトゥ 身長 187cm 生年月日 2004/8/29 出身校 岐阜女子高等学校	<b>7</b> SF 後藤 音羽 身長 179cm 生年月日 2007/2/13 出身校 浜松開誠館高等学校	<b>8</b> SG 土家 梨愛 ツチヤ リナ 身長 174cm 生年月日 2004/9/17 出身校 倉敷翠松高等学校	<b>14</b> PG 前田 珠涼 マエダ ミスズ 身長 165cm 生年月日 2006/5/29 出身校 昭和学院高等学校
<b>15</b> PF 柴田 緑 シバタ ミドリ 身長 175cm 生年月日 2005/8/15 出身校 岐阜女子高等学校	<b>17</b> SF 門脇 瑠羽 カドワキ コハネ 身長 176cm 生年月日 2005/1/7 出身校 北越高等学校	<b>24</b> SF 加藤 愛香 カトウ アイカ 身長 173cm 生年月日 2003/7/22 出身校 福岡大学附属若葉高等学校	<b>34</b> PF メンディー シ阿拉 身長 182cm 生年月日 2006/11/17 出身校 千葉経済大学附属高等学校
<b>44</b> PG 清水 紫音 シミズ シオン 身長 167cm 生年月日 2003/8/9 出身校 岐阜女子高等学校	<b>61</b> PF 深津 唯生 フツヅ ユイナ 身長 180cm 生年月日 2006/5/25 出身校 桜花学園高等学校	<b>76</b> SG 渡部 結 ワタナベ ユイ 身長 170cm 生年月日 2005/7/21 出身校 昭和学院高等学校	<b>91</b> PF 大脇 晴 オオワキ ハル 身長 178cm 生年月日 2004/3/4 出身校 慶進高等学校

## STAFF

<b>HEAD COACH</b> 	<b>監督</b> 恩塚 亨 オンツカ カトオル	<b>トレーナー</b> 宮下 薫子 ミヤシタ カオルコ	<b>学生スタッフ</b> 岩井 来夢 イワイ クルミ
<b>アシスタントコーチ</b> 伊藤 彰浩 イトウ アキヒロ	<b>学生スタッフ</b> 菊谷 友希乃 キクタニ ユキノ	<b>学生スタッフ</b> 高橋 茉鈴 タカハシ マリン	<b>学生スタッフ</b> 若月 美陽 ワカツキ ミハル
<b>アシスタントコーチ</b> 佐藤 悠成 サトウ ユウセイ	<b>学生スタッフ</b>		<b>学生スタッフ</b> 柴草 樹 シバカサ ハル



# 滋賀銀行LakeVenus

近畿ブロック代表

皇后杯最高成績  
ファイナルラウンド  
出場



## ブロック代表枠

### セカンドラウンド結果(ベスト4以上)

大阪1位	大阪人間科学大学	65	滋賀銀行LakeVenus
和歌山	紀陽銀行ハートビーツ	70	
滋賀	滋賀銀行LakeVenus	68	
大阪2位	大阪体育大学	42	
57			

「スポーツを通じて地域社会に貢献する」ことをスローガンに1976年に創部。現在は社会人トップカテゴリーのSB1リーグに参戦し、昨年度は準優勝を遂げるなど、近畿ブロックを代表する社会人チーム。プレッシャーの強いディフェンスを武器に、一戦一戦全力で戦い勝利を目指す。



## ■ STAFF



HEAD COACH	部長	副部長	ヘッドコーチ
	山本 茂喜	寺村 和彦	藤堂 悠

ファーストアシstantコーチ	アシstantコーチ	アシstantコーチ
村田 健一	ムラタ ケンイチ	宮崎 寧子

マネージャー	マネージャー	マネージャー
富永 美月	小林 智香	林中 和也



# デンソー アイリス

Wプレミア2位

皇后杯最高成績

優勝(2023年度)



## トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

東京オリンピック銀メダリストの高田真希に赤穂ひまわりと日本を代表するトップ選手に加え、FIBA女子アジアカップ2025(2024年7月)の日本代表に名を連ねた川井麻衣や今野紀花、薮未奈海ら成長著しい選手たちが顔をそろえるデンソー アイリス。インサイドには新加入のアニマム ジャックダニエル(190cm)、シラソハナ ファトーディヤ(188cm)とビッグセンターがあり、メンバーの平均身長はWリーグの中でENEOSに次いで2番目に高い。ガード陣に目を向けても、パスと得点力を兼ね備える木村亜美や4シーズンぶりに古巣に戻ってきたシューティングガードの笠置晴菜、勝負強いシュートが持ち味の梅木千夏と層は厚い。群を抜く総合力で目指すは2023年大会以来の日本一だ。

<b>3</b> SG 平賀 真帆 ヒラカ マホ 身長 172cm 生年月日 2004/11/27 出身校 桜花学園高等学校	<b>4</b> PG 川井 麻衣 カワイマイ 身長 172cm 生年月日 1996/4/11 出身校 東京成徳大学高等学校	<b>8</b> C 高田 真希 タカダ マキ 身長 185cm 生年月日 1989/8/23 出身校 桜花学園高等学校	<b>10</b> C アニマム ジャックダニエル 身長 190cm 生年月日 1998/11/27 出身校 世新大学
<b>11</b> SG 梅木 千夏 ウメキ チナツ 身長 168cm 生年月日 2000/8/12 出身校 聖カタリナ学園高等学校	<b>13</b> PG 木村 亜美 キムラ アミ 身長 165cm 生年月日 1999/9/18 出身校 東京医療保健大学	<b>18</b> SF 薮 未奈海 ヤブ ミナミ 身長 178cm 生年月日 2004/10/2 出身校 八雲学園高等学校	<b>21</b> SG 笠置 晴菜 カサギ ハルナ 身長 167cm 生年月日 1999/2/21 出身校 昭和学院高等学校
<b>23</b> SG 篠原 華実 シノハラ ハナミ 身長 172cm 生年月日 1996/8/9 出身校 聖カタリナ学園高等学校	<b>28</b> C シラソハナ ファトーディヤ 身長 188cm 生年月日 1997/6/4 出身校 白鶴大学	<b>30</b> SF 白石 弥桜 シライシ ミオ 身長 184cm 生年月日 2006/4/17 出身校 桜花学園高等学校	<b>73</b> SF 今野 紀花 コンノ ノリカ 身長 179cm 生年月日 2000/5/1 出身校 ルイビル大学
<b>88</b> SF 赤穂 ひまわり アカホ ヒマワリ 身長 184cm 生年月日 1998/8/28 出身校 昭和学院高等学校			

## ■ STAFF

<b>HEAD COACH</b> 	<b>部長</b> 齋藤 隆夫 サイトウ ラウフ	<b>アライジングコーチ</b> 伊藤 恒子 イトウ キヨウコ	<b>アシスタントトレーナー</b> 重枝 優香 シゲエダ ユウカ
	<b>ヘッドコーチ</b> グラディミール ヴクサンヴィッチ	<b>通訳兼サポートコーチ</b> 小関 ライアン 雄大 コセキ ライアン ユウタ	<b>チーフマネージャー</b> 成田 明香 ナリタ サヤカ
	<b>アシスタントコーチ</b> 高田 紘久 タカダ ヒロヒサ	<b>チーフトレーナー</b> 吉田 まどか ヨシダ マドカ	<b>アシスタントマネージャー</b> 赤穂 かんな アカホ カンナ

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



## 富士通レッドウェーブ



## トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

Wリーグ2連覇中、皇后杯では前回大会で優勝を遂げた富士通は、町田瑠唯、宮澤夕貴、林咲希といった日本代表での経験も豊富なベテランたちを中心に黄金期を迎えており、センターのジョシュア・ンファンノボン・テミトペは堅実なプレーを見せ、フォワードの宮下希保は要所を締める働き。ガードの赤木里帆も主軸として安定感が増してきた。そこに4シーズンぶりに現役復帰を果たした前澤澪が加入。試合を経るごとにパフォーマンスも上がっている。シーズン中のWリーグでは4位にとどまっているが、内尾聰菜らコンディション不良で欠場していた選手たちも復帰。何より戦い方を熟知しているベテランが多いだけに、今大会でも優勝候補の本命といえる。

<b>0 PG</b> 山田 葵 ヤマダ アオイ 身長 167cm 生年月日 2003/2/10 出身校 筑波大学	<b>2 SG</b> 林 真帆 ハヤシ マホ 身長 174cm 生年月日 2002/2/22 出身校 東京医療保健大学	<b>7 SG</b> 林 咲希 ハヤシ サキ 身長 173cm 生年月日 1995/3/16 出身校 白鶴大学	<b>8 C</b> ジョシュア・ンファン ノボン・テミトペ 身長 190cm 生年月日 2000/3/18 出身校 東京医療保健大学
<b>9 SG</b> 赤木 里帆 アカギ リホ 身長 167cm 生年月日 1998/8/4 出身校 東京医療保健大学	<b>10 PG</b> 町田 瑠唯 マチダ ルイ 身長 162cm 生年月日 1993/3/8 出身校 札幌山の手高等学校	<b>11 SG</b> 前澤 澪 マエザワ ミオ 身長 167cm 生年月日 1991/9/12 出身校 松蔭大学	<b>12 SF</b> 奥 伊吹 オク イブキ 身長 174cm 生年月日 1998/4/10 出身校 松蔭大学
<b>13 SG</b> 安江 沙碧梨 ヤスエ サオリ 身長 171cm 生年月日 2001/1/17 出身校 日本体育大学	<b>14 SF</b> 伊森 可琳 イモリ カリン 身長 178cm 生年月日 2000/5/10 出身校 東京医療保健大学	<b>18 C</b> 藤本 愛妃 フジモト アキ 身長 179cm 生年月日 1998/2/11 出身校 東京医療保健大学	<b>22 C</b> アカトーオーサリテン エブリン 身長 190cm 生年月日 1995/2/3 出身校 ケンタッキー大学
<b>23 SG</b> 佐藤 華純 サトウ カスミ 身長 171cm 生年月日 2001/10/15 出身校 シカゴ大学	<b>25 SF</b> 内尾 聰菜 ウチオ アキナ 身長 177cm 生年月日 1997/8/16 出身校 福岡大学附属若葉高等学校	<b>52 PF</b> 宮澤 夕貴 ミヤザワ ユキ 身長 183cm 生年月日 1993/6/2 出身校 県立金沢総合高等学校	<b>81 PF</b> 宮下 希保 ミヤシタ キホ 身長 178cm 生年月日 1998/10/6 出身校 県立羽高等學校

## ■ STAFF

<b>HEAD COACH</b> 	<b>顧問</b> 平松 浩樹 ヒラマツ ヒロキ	<b>トップアシスタントコーチ</b> 後藤 祥太 ゴトウ ショウタ	<b>ヘッドトレーナー</b> 大島 久美子 オオシマ クミコ
<b>部長兼ゼネラルマネージャー</b> 吉田 大輔 ヨシダ ダイスケ	<b>コーチ</b> 蔵樂 建斗 ゾウラク タケト	<b>トレーナー</b> 藤巻 みのり フジマキ ミノリ	
<b>ヘッドコーチ</b> 日下 光 クサカ ヒカル	<b>アナリスト</b> 有賀 早希 アリガ サキ	<b>チーフマネージャー</b> 原田 知歩 ハラダ チホ	
<b>CAP キャプテン</b> 外国人  帰化			



## ブロック代表枠

## セカンドラウンド 予選結果(ベスト4以上)



全国強豪の足羽高校を長年にわたり率いてきた林慎一郎コーチを迎え2024年に創部。2年目となる今年度は、インターハイ初出場を果たしベスト16の結果を残した。さらに、ウインターハイ初出場、皇后杯もセカンドラウンドで北信越ブロックを制し、ファイナルラウンド初出場を決めた。粘り強いディフェンスで新風を吹かせられるか。

<b>4</b> SF 小池 昌鈴 コイケ マリン 身長 170cm 生年月日 2008/9/7 出身校 新潟清心女子中学校	<b>5</b> PG 田原 莉桜 タハラ リオ 身長 167cm 生年月日 2009/4/10 出身校 幸町第二中学校	<b>6</b> PG 平田 咲喜 ヒラタ サキ 身長 165cm 生年月日 2009/4/7 出身校 浜松学院中学校	<b>7</b> SG 中村 莉衣奈 ナカムラ リナ 身長 164cm 生年月日 2010/1/26 出身校 布水中学校
<b>8</b> SG 北川 虹 キタガワ ナナ 身長 162cm 生年月日 2009/1/5 出身校 中央中学校	<b>9</b> SG 山口 莉旺 ヤマグチ リオ 身長 160cm 生年月日 2008/8/17 出身校 宝泉中学校	<b>11</b> PG 中村 紗花 ナカムラ リンカ 身長 153cm 生年月日 2009/1/28 出身校 桃山中学校	<b>12</b> PG 長島 愛実 ナガシマ メグミ 身長 160cm 生年月日 2008/8/29 出身校 森中学校
<b>13</b> PG 菅原 砂音 スガワラ シオン 身長 157cm 生年月日 2008/5/8 出身校 白石中学校	<b>15</b> PF 阪本 いろは サカモト イロハ 身長 170cm 生年月日 2009/6/27 出身校 坂井中学校	<b>16</b> SF 姫路 莉緒 ヒメジ リオ 身長 169cm 生年月日 2008/5/16 出身校 東月寒中学校	<b>17</b> PF 玖田 小麦 クダ コムギ 身長 172cm 生年月日 2008/7/1 出身校 稲沢西中学校
<b>18</b> PF 板橋 香苗 イタバシ カナエ 身長 174cm 生年月日 2008/5/14 出身校 北の杜学園中学校	<b>19</b> C マリアマ ジャロー ニシバラ マイ 身長 187cm 生年月日 2009/4/26 出身校 SERIGNE	<b>20</b> C 西原 舞 ニシバラ マイ 身長 182cm 生年月日 2008/4/21 出身校 中央中学校	<b>21</b> C モニカ ジョセフィーヌ モニカ ジョセフィーヌ 身長 190cm 生年月日 2008/9/15 出身校 AEDEC 外

## ■ STAFF

<b>HEAD COACH</b> 	<b>ヘッドコーチ</b> 林 慎一郎 ハヤシ シンイチロウ	<b>マネージャー</b> 美濃山 美月 ミノヤマ ミヅキ
	<b>ファーストアシスタントコーチ</b> 小林 沙織 コバヤシ サオリ	
<b>顧問</b> 真鍋 淳希 マナベ セイキ		



## 大学推薦枠

## 2025年度関東大学女子選手権結果(ベスト4以上)

白鷗大学	94		
筑波大学	63	73	東京医療保健大学
山梨学院大学	55	99	
東京医療保健大学	72		
山梨学院大学	85		3位決定戦
筑波大学	62		山梨学院大学

今年度はライバル東京医療保健大の後塵を拝したが、昨年度を含む過去3回インカレ優勝を飾るなど大学界をけん引する強豪。2023年度の皇后杯では、予選でWリーグ勢2チームを破って8チームによる決勝トーナメントに出場を果たした。今大会では、激しいプレッシャーディフェンスから過去最高成績を狙う。

**0 SF**  
谷口 夢花  
タニグチ ウイカ  
身長 174cm  
生年月日 2006/1/20  
出身校 札幌山の手高等学校

**1 SF**  
浜口 さくら  
ハマグチ サクラ  
身長 174cm  
生年月日 2005/8/9  
出身校 東海大学付属福岡高等学校

**3 PG**  
林 咲良  
ハヤシ サラ  
身長 162cm  
生年月日 2007/2/24  
出身校 京都精華学園高等学校

**5 PG**  
池田 凜  
イケダ リン  
身長 165cm  
生年月日 2004/12/18  
出身校 明星学園高等学校

**7 SG**  
伊藤 知里  
イトウ チサト  
身長 170cm  
生年月日 2006/4/13  
出身校 県立岡豊高等学校

**9 SG**  
佐坂 光咲  
ササカミサキ  
身長 174cm  
生年月日 2004/1/28  
出身校 東京成徳大学高等学校

**10 PG**  
齋田 夢良  
サイダ ユラ  
身長 167cm  
生年月日 2006/4/24  
出身校 桜花学園高等学校

**11 PG**  
佐々木 凜  
ササキ リン  
身長 177cm  
生年月日 2005/2/28  
出身校 県立湯沢翔北高等学校

**15 C**  
武井 遙菜  
タケイ ハルナ  
身長 185cm  
生年月日 2005/10/26  
出身校 明星学園高等学校

**17 SF**  
高木 美波  
タカキ ミナミ  
身長 175cm  
生年月日 2004/4/16  
出身校 桜花学園高等学校

**19 SF**  
清水 純  
シミズ アヤ  
身長 175cm  
生年月日 2004/4/1  
出身校 白鷗大学足利高等学校

**27 C**  
伊東 友莉香  
イトウ ユリカ  
身長 175cm  
生年月日 2006/6/5  
出身校 東海大付属福岡高等学校

**30 SF**  
清藤 優衣  
セイトウ ユイ  
身長 174cm  
生年月日 2007/1/22  
出身校 精華女子高等学校

**33 SG**  
緒方 梨乃  
オガタ リノ  
身長 167cm  
生年月日 2005/6/24  
出身校 大分高等学校

**41 C**  
アダム アフォディヤ  
身長 196cm  
生年月日 2004/1/18  
出身校 明星学園高等学校

**77 PF**  
東 小姫  
ヒガシ サキ  
身長 177cm  
生年月日 2006/1/21  
出身校 桜花学園高等学校

## ■ STAFF



## HEAD COACH

ヘッドコーチ	佐藤 智信	サトウ トシノブ
アシスタントコーチ	根本 雅敏	ネモト マサトシ
トレーナー	樺澤 圭一	カバサワ ケイイチ

マネージャー	池田 千紗	イケダ チサ
マネージャー	神山 由羽	カミヤマ ユウ
マネージャー	鳥海 さくら	トリウミ サクラ
マネージャー	トリウミ サクラ	鳥海 さくら

マネージャー	宮崎 優希	ミヤザキ ユウキ
アナリスト	新川 育美	シンカワ イクミ
アナリスト	鷲尾 在	ワシオ アリ
アナリスト	トリウミ サクラ	鳥海 さくら



# 東京羽田ヴィッキーズ

Wフューチャー 1位

皇后杯最高成績

ベスト8

(2024年度)



## トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

昨シーズン、Wリーグ フューチャーを制して昇格を決め、今シーズンよりプレミアを主戦場としている東京羽田。だが、シーズン前に洪潤夏、北川聖、高原春季ら主力の相次ぐケガによる戦線離脱で台所事情は決して明るくはない。それでも、ヴィッキーズ一筋10年目、日本代表としても国際大会で活躍してきたガードの本橋菜子やオールラウンドな動きが魅力の岡田真那美、さらには193cmの外国籍選手、シャノン・ティアラ・フルーカーが奮闘。接戦を演じている。Wリーグでの勝敗は1勝15敗と苦しんでいるが、厳しい戦いの中でもまれながらチームは着実に力を付けている。千葉歩、吉田沙織ら外角シュートを武器とするガードたちにも注目。皇后杯での起死回生を期す。

1	PG	
<b>磯野 志歩</b>		
イソノ シホ		
身長 163cm		
生年月日 2002/10/22		
出身校 インカーネイト・ワード大学		

2	PF	
<b>森 美麗</b>		
モリミレイ		
身長 180cm		
生年月日 2004/4/16		
出身校 桜花学園高等学校		

3	SF	
<b>岡田 真那美</b>		
オカダ マナミ		
身長 174cm		
生年月日 1998/4/29		
出身校 愛知学泉大学		

6	PF	
<b>星澤 真</b>		
ホシザワ マコト		
身長 182cm		
生年月日 1995/10/19		
出身校 松蔭大学		

7	SG	
<b>洪 潤夏</b>		
ホン ユナ		
身長 170cm		
生年月日 2001/7/18		
出身校 東京医療保健大学		

9	SF	
<b>倉持 のりか</b>		
クラモチ ノリカ		
身長 175cm		
生年月日 2002/6/20		
出身校 コフィービル・コミュニティ・カレッジ		

11	PG	
<b>松本 新湖</b>		
マツモト ニコ		
身長 167cm		
生年月日 2002/12/6		
出身校 東京医療保健大学		

12	PG	
<b>本橋 菜子</b>		
モトハシ ナコ		
身長 164cm		
生年月日 1993/10/10		
出身校 早稲田大学		

15	PG	
<b>吉田 沙織</b>		
ヨシダ サオリ		
身長 157cm		
生年月日 1997/5/29		
出身校 名古屋学院大学		

17	SG	
<b>千葉 歩</b>		
チバ アユミ		
身長 167cm		
生年月日 1996/8/4		
出身校 専修大学		

22	PF	
<b>加藤 優希</b>		
カトウ ユウキ		
身長 179cm		
生年月日 1997/2/3		
出身校 桜花学園高等学校		

23	C	
<b>イベ エスター チカンソ</b>		
身長 185cm		
生年月日 2001/6/28		
出身校 東京医療保健大学		

25	PG	
<b>北川 聖</b>		
キタガワ アキラ		
身長 166cm		
生年月日 2001/2/20		
出身校 大阪阪人間科学大学		

31	SF	
<b>高原 春季</b>		
タカラハラ ハルキ		
身長 173cm		
生年月日 1999/3/13		
出身校 大学阪英女子学院高等学校		

33	C	
<b>シャノン ティアラ フルーカー</b>		
身長 193cm		
生年月日 1997/1/17		
出身校 カリフォルニア州立大学ノースリッジ		

77	C	
<b>栗林 未和</b>		
クリパヤシ ミワ		
身長 188cm		
生年月日 1998/8/26		
出身校 札幌山の手高等学校		

## ■ STAFF

### HEAD COACH



### 部長

鈴木 俊昭 スズキ トシアキ

### ゼネラルマネージャー

冨田 里利 トミタ サトリ

### ヘッドコーチ

萩原 美樹子 ハギワラ ミキコ

### アソシエイトコーチ

平岡 富士貴 ヒラオカ フジタカ

### アシスタントコーチ

奥田 花 オクダ ハナ

### アナライジングコーチ

斎藤 卓 サイトウ タク

### トレーナー

小林 夏実

コバヤシ ナツミ

### トレーナー

中川 映夏

ナカガワ エナ

### マネージャー

長谷川 撫美

ハセガワ ナツミ



## ブロック代表枠

## セカンドラウンド 予選結果(ベスト4以上)

愛媛	今治オレンジブロッサム	118
徳島	JOIN	36
高知	市立高知商業高等学校	105
香川	TOSFIVE	51

2007年創設、現在は社会人トップカテゴリーのSB1リーグに所属する四国を代表するクラブチーム。今年度の皇后杯セカンドラウンド四国ブロックを制し、ファイナルラウンド出場を決めた。本大会では1回戦からWリーグ勢に挑むことになるが、全員が主役のバスケットで初戦突破を目指す。

**0 SG**  
矢野 紗也佳  
ヤノ サヤカ  
身長 165cm  
生年月日 1999/4/27  
出身校 日本体育大学

**1 SF**  
浅間 美佳  
アサマ ミカ  
身長 172cm  
生年月日 2001/3/15  
出身校 金沢学院大学

**2 PG**  
西田 恵菜  
ニシダ エナ  
身長 164cm  
生年月日 2000/8/16  
出身校 日本経済大学

**7 PF**  
新谷 莉歩  
ニイヤ リホ  
身長 170cm  
生年月日 2000/1/26  
出身校 大阪体育大学

**10 PF**  
平野 尚  
ヒラノ ショウ  
身長 167cm  
生年月日 1999/7/14  
出身校 大阪体育大学

**11 SF**  
稻井 朋香  
イナイトモカ  
身長 166cm  
生年月日 1999/6/29  
出身校 園田学園女子大学

**13 PF**  
高木 悠衣  
タカギ ユイ  
身長 174cm  
生年月日 1999/8/31  
出身校 天理大学

**14 C**  
ジョル  
セイナブ ライ  
身長 186cm  
生年月日 2001/12/19  
出身校 日本経済大学

**15 SG**  
田村 碧衣  
タムラ アオイ  
身長 165cm  
生年月日 1999/5/24  
出身校 鹿屋体育大学

**17 SG**  
山口 郁実  
ヤマグチ イクミ  
身長 165cm  
生年月日 2001/6/22  
出身校 日本経済大学

**24 PG**  
大西 紗  
オオニシ アヤ  
身長 153cm  
生年月日 1996/9/9  
出身校 京都学園大学

**27 PG**  
中村 真湖  
ナカムラ マコ  
身長 166cm  
生年月日 2003/3/3  
出身校 大阪人間科学大学

**31 SG**  
幸田 みづき  
コウダ ミズキ  
身長 160cm  
生年月日 2002/3/29  
出身校 鹿屋体育大学

## ■ STAFF



<b>HEAD COACH</b>	<b>部長</b>	<b>コーチ</b>
	若宮 浩 ワカミヤ ヒロシ	林 怜建 ハヤシ リョウケン
	<b>ヘッドコーチ</b>	<b>トレーナー</b>
	松尾 政明 マツオ マサアキ	玉井 勇人 タマイ ハヤト
	<b>ファーストアシスタントコーチ</b>	
	大塚 千里 オオツカ チサト	



# トヨタ紡織 サンシャインラビッツ

Wプレミア6位

皇后杯最高成績

3位タイ  
(2021年度)

## トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

Wリーグのシーズン前半戦を終えて、最も勢いがあると言つても過言ではない。司令塔の都野七海、センターのディマロ・ジエシカ・ワリエビモ・エレ、エースの東藤なな子は、いずれも1試合の平均得点が2桁を超え、そこに今シーズンから加入した長岡萌映子やチドム・オデラ、入団4年目の平下結貴らが追随する。移籍1年目の奥山理々嘉、窪田真優らも得点力が高く、伊波美空、北村悠貴もしっかり役割を果たすなど分厚い戦力を構成中だ。トヨタ自動車で2度のWリーグ優勝へと導いたルーカス・モンデーロヘッドコーチが指揮を執って3シーズン目となり結果を残したい今季。まずは一つ目のタイトルとなる皇后杯をチーム一丸となって奪いにいく。

<b>2</b> PF 長岡 萌映子 ナガオカ モエコ 身長 183cm 生年月日 1993/12/29 出身校 札幌山の手高等学校	<b>6</b> C ディマロ・ジエシカ・ワリエビモ・エレ 身長 188cm 生年月日 2005/7/19 出身校 京都精華学園高等学校 外	<b>7</b> PG 都野 七海 ツノ ナナミ 身長 159cm 生年月日 2004/11/23 出身校 大阪薫英女学院高等学校	<b>8</b> SF 東藤 なな子 トウドウ ナナコ 身長 175cm 生年月日 2000/11/29 出身校 札幌山の手高等学校
<b>10</b> PG 平下 結貴 ヒラシタ ユキ 身長 175cm 生年月日 2003/5/14 出身校 桜花学園高等学校	<b>11</b> PG 日高 ひかる ヒダカ ヒカル 身長 164cm 生年月日 2002/9/1 出身校 大阪体育大学	<b>16</b> SF 奥山 理々嘉 オクヤマ リリカ 身長 180cm 生年月日 2000/4/6 出身校 八雲学園高等学校	<b>18</b> SG 伊波 美空 イハ ミソラ 身長 167cm 生年月日 2003/6/27 出身校 桜花学園高等学校
<b>22</b> C チドム・オデラ 身長 193cm 生年月日 1995/7/9 出身校 デューク大学 外	<b>25</b> PF 桂 葵 カツラ アオイ 身長 182cm 生年月日 1992/9/2 出身校 早稲田大学	<b>26</b> SG 石牧 葵 イシマキ アオイ 身長 167cm 生年月日 2000/9/17 出身校 愛知学泉大学	<b>28</b> SF 北村 悠貴 キタムラ ユウキ 身長 173cm 生年月日 1994/3/29 出身校 大阪人間科学大学
<b>31</b> SG 窪田 真優 クボタ マユ 身長 169cm 生年月日 2000/8/6 出身校 桐蔭横浜大学			

## ■ STAFF

<b>HEAD COACH</b> 	<b>ヘッドコーチ</b> ルーカス・モンデーロ・ガルシア	<b>トレーナー</b> 河原田 愛 カワハラダ アイ	<b>マネージャー</b> 大西 真琴 オオニシ マコト
	<b>ファーストアシスタントコーチ</b> 吉永 大器 ヨシナガ タイキ	<b>トレーナー</b> 鳥海 杏奈 トリウミ アンナ	<b>通訳</b> 福崎 ナツミ フクサキ ナツミ
	<b>アナリスト</b> 福田 有利子 フクダ ユリコ	<b>トレーナー</b> 小林 利輝 コバヤシトシキ	<b>アナリスト</b> 櫻井 このか サクライ コノカ



# シャンソン化粧品 シャンソンVマジック

Wプレミア3位

皇后杯最高成績

優勝(10回)



## トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

今シーズンは小池遙、白崎みなみ、ンウォコ マーベラス アダク ビクター、峰晴寿音、佐藤由璃果が不動のスターターとして出場。白崎、ビクター、峰晴は力強いプレーを披露して主に得点面で、佐藤は得点のみならずリバウンドでチームを後押しする。そして司令塔の小池は巧みなゲームメイクやアシストで攻撃の柱となっている。オフェンス能力の高い鷹のはし公歌やパスで魅了する堀内桜花、外国籍のカサンドラ ブラウンらバツクアップメンバーたちが脇を固める。Wリーグでは接戦を落とすことが多く、あと一步のところで勝ち星にはつながっていないが、自力はある。新指揮官・小笠原真人ヘッドコーチの下、古豪復活に向けてもこの皇后杯を飛躍のきっかけとしたい。

<b>1</b> PG 小池 遥 コイケ ハルカ 身長 167cm 生年月日 1995/6/22 出身校 大阪人間科学大学	<b>3</b> PF 佐坂 樹 ササカ ミキ 身長 178cm 生年月日 1998/1/31 出身校 白鶴大学	<b>5</b> PF 塙谷 心海 シオタニ ココミ 身長 178cm 生年月日 2002/1/6 出身校 大阪人間科学大学	<b>6</b> SG 白崎 みなみ シラサキ ミナミ 身長 166cm 生年月日 1996/8/15 出身校 奈良学園大学
<b>8</b> C 橋口 樹 ハシグチ イツキ 身長 180cm 生年月日 1999/10/22 出身校 山梨学院大学	<b>11</b> PG 堀内 桜花 ホリウチ サクラ 身長 167cm 生年月日 2006/4/1 出身校 京都精華学園高等学校	<b>12</b> PG 知名 祐里 チナ ユウリ 身長 165cm 生年月日 2001/5/3 出身校 県立西原高等学校	<b>15</b> C 濱口 京子 ハマグチ キョウコ 身長 181cm 生年月日 1990/8/4 出身校 聖カタリナ学園高等学校
<b>17</b> SG 鷹鴨 公歌 タカノハシ キミカ 身長 168cm 生年月日 1995/7/10 出身校 愛知学泉大学	<b>21</b> C カサンドラ ブラウン カサンドラ ブラウン 身長 188cm 生年月日 1992/6/16 出身校 ポートランド大学	<b>22</b> C ンウォコ マーベラス アダク ビクター ンウォコ マーベラス アダク ビクター 身長 183cm 生年月日 2001/8/27 出身校 拓殖大学	<b>27</b> PF 渡部 陽美 ワタナベ ミナミ 身長 175cm 生年月日 2007/1/1 出身校 三田松聖高等学校
<b>34</b> PG 森 美月 モリミツキ 身長 163cm 生年月日 2001/7/21 出身校 愛知学泉大学	<b>44</b> SF 峰晴 寿音 ミネハル ジュネ 身長 172cm 生年月日 1999/4/22 出身校 大阪人間科学大学	<b>45</b> PF 佐藤 由璃果 サトウ ユリカ 身長 177cm 生年月日 1998/9/27 出身校 筑波大学	

## ■ STAFF

<b>HEAD COACH</b> 	<b>部長</b> 大岩 秀樹 オオイワヒデキ	<b>ファーストアシスタントコーチ</b> 池田 直斗 イケダ ナオト	<b>トレーナー</b> 津野 文香 ツノ アヤカ
<b>副部長</b> 佐野 総司 サノソウシ	<b>アナリスト</b> 山本 聖希 ヤマモトセイキ	<b>マネージャー</b> 永山 まなみ ナガヤマ マナミ	
<b>ヘッドコーチ</b> 小笠原 真人 オガサワラ マサト	<b>トレーナー</b> 加藤 絵里奈 カトウ エリナ	<b>マネージャー</b> 濱崎 栄 ハマザキ シオリ	



# 四日市メリノール学院高等学校

皇后杯最高成績  
ファイナルラウンド  
初出場



## ブロック代表枠

### セカンドラウンド 予選結果(ベスト4以上)

愛知1位	愛知学泉大学	60	四日市メリノール学院高等学校
静岡1位	RISE	64	
愛知2位	名古屋学院大学	76	
三重1位	四日市メリノール学院高等学校	47	
		69	

中高一貫で強化を進め、2017年創部の中学校はすでに全国優勝も果たし、強豪として名を馳せる。2018年創部の高校も全国常連校となり、昨年度インターハイではベスト8入り。サイズはないが、組織立ったディフェンスを見せ、今年度もインターハイ、ウインターカップ出場、さらに初の皇后杯ファイナルラウンド進出となった。

<b>4</b> SG 吉田 陽香 ヨシダ ハルカ 身長 165cm 生年月日 2007/10/26 出身校 菊陵中学校	<b>5</b> SF 川口 真央 カワグチ マオ 身長 163cm 生年月日 2007/8/1 出身校 四日市メリノール学院中学校	<b>6</b> PF 伊藤 千寛 イトウ チヒロ 身長 172cm 生年月日 2009/1/7 出身校 四日市メリノール学院中学校	<b>7</b> SG 佐藤 花楓 サトウ カエデ 身長 158cm 生年月日 2007/5/19 出身校 百合学院中学校
<b>8</b> SF 瀧谷 虹歩 シブヤ ニジホ 身長 167cm 生年月日 2007/9/25 出身校 四日市メリノール学院中学校	<b>9</b> SG 西山 日葵 ニシヤマ ヒナタ 身長 164cm 生年月日 2008/12/18 出身校 四日市メリノール学院中学校	<b>10</b> PF 望月 咲来 モチヅキ サラ 身長 171cm 生年月日 2008/12/6 出身校 四日市メリノール学院中学校	<b>11</b> SF 中城 向日葵 ナカシマ ヒマワリ 身長 170cm 生年月日 2009/7/29 出身校 四日市メリノール学院中学校
<b>12</b> SF 安達 沙那 アダチ サナ 身長 170cm 生年月日 2009/7/6 出身校 亀山中学校	<b>13</b> PG 中嶋 とわ ナカシマ トワ 身長 165cm 生年月日 2008/11/28 出身校 四日市メリノール学院中学校	<b>14</b> C 坂本 慧心 サカモト エコ 身長 175cm 生年月日 2009/4/3 出身校 四日市メリノール学院中学校	<b>15</b> PF 右田 陽菜乃 ミギタ ヒナノ 身長 175cm 生年月日 2010/1/30 出身校 岸田中学校
<b>16</b> PF 小林 蘭 コバヤシ ラン 身長 175cm 生年月日 2009/4/27 出身校 四日市メリノール学院中学校	<b>17</b> PG 中村 結愛 ナカムラ ユマ 身長 160cm 生年月日 2009/8/11 出身校 菊陵中学校	<b>18</b> C 大矢 美敬 オオヤ ミノリ 身長 176cm 生年月日 2009/8/24 出身校 富田中学校	<b>19</b> PG 森本 詩 モリモト ウタ 身長 164cm 生年月日 2009/9/12 出身校 勢和中学校

## ■ STAFF

<b>HEAD COACH</b> 	<b>ヘッドコーチ</b> 稻垣 愛 イナガキ アイ	<b>マネージャー</b> 川端 新菜 カワバタ ニナ	<b>マネージャー</b> 田中 美妃 タナカ ミヅキ
<b>ファーストアシスタントコーチ</b> 粟津 雪乃 アツツ ユキノ	<b>マネージャー</b> 山下 藍 ヤマシタ アイ	<b>トレーナー</b> 南 圭介 ミナミ ケイスケ	
<b>マネージャー</b> 中村 愛結 ナカムラ アユ	<b>マネージャー</b> 根木 ひより ネキ ヒヨリ		



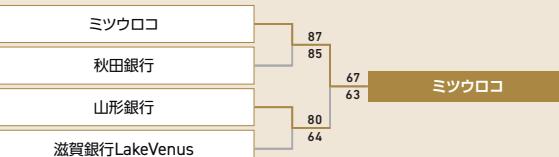
# 山形銀行

皇后杯最高成績  
ファイナルラウンド  
出場



## 社会人推薦枠

2025年度 高松宮記念杯全日本社会人プレミアムチャンピオンシップ  
(ベスト4以上)



1992年の「べにばな国体」に向けて1989年に発足。以来、社会人バスケットボールの強豪として、長きにわたり山形県、東北地区をリードしている。今年度は国民スポーツ大会・成年の部に単独出場し、10年ぶりの優勝を果たした。ディフェンスからの速い展開のバスケットボールで、Wリーグ勢に挑戦したい。



## ■ STAFF



**部長**  
安藤 利博  
アンドウ リヒロ

**トレーナー**  
菊地 忍  
キクチ シノブ

**ヘッドコーチ**  
木林 稚栄  
キムラ チエ

**トレーナー**  
中嶋 康博  
ナカジマ ヤスヒロ

**アシスタントコーチ**  
依田 咲子  
ヨダ サキコ

**トレーナー**  
遠藤 皓樹  
エンドウ コウキ



# 山梨学院大学

皇后杯最高成績  
ファイナルラウンド  
初出場



## 大学推薦枠

### 2025年度関東大学女子選手権結果(ベスト4以上)

白鶲大学	94	東京医療保健大学
筑波大学	63	
山梨学院大学	55	3位決定戦
東京医療保健大学	72	
山梨学院大学	85	山梨学院大学
筑波大学	62	

2008年の創部以来、強化を進め2010年度には関東リーグ2部で優勝。2020年度からは念願の1部に昇格。降格を経験するも、昨年度のインカレで4位。1部に復帰した今年度の関東選手権で3位に食い込んだ。皇后杯には2012年度に関東ブロック代表として初出場を果たしている。今大会は初戦を突破し、Wリーグ勢にチャレンジするのが目標。

<b>O</b> PF 平野 和々美 ヒラノ ナナミ 身長 168cm 生年月日 2005/11/11 出身校 県立小林高等学校	<b>1</b> PG 赤石 華音 アカシ カノン 身長 161cm 生年月日 2005/10/10 出身校 高知中央高等学校	<b>3</b> SG 牧野 瑞依 マキノ ルイ 身長 165cm 生年月日 2007/2/13 出身校 千葉経済大学附属高等学校	<b>5</b> SG 藤澤 夢叶 フジ澤 ユウカ 身長 161cm 生年月日 2003/5/28 出身校 岐阜女子高等学校
<b>7</b> SG 安藤 美優 アンドウ ミユウ 身長 171cm 生年月日 2006/8/3 出身校 岐阜女子高等学校	<b>13</b> PG 樋渡 梨桜 ヒワタシ リオ 身長 167cm 生年月日 2005/4/6 出身校 精華女子高等学校	<b>17</b> SG 北條 瑠奈 ホウジョウ ココナ 身長 163cm 生年月日 2005/5/9 出身校 大阪桐蔭高等学校	<b>18</b> C 山田 愛結 ヤマダ アユ 身長 177cm 生年月日 2003/10/12 出身校 県立足羽高等学校
<b>22</b> C アチャラ オゲチクランシー 身長 180cm 生年月日 2004/1/24 出身校 昭和学院高等学校	<b>24</b> SG 佐藤 彩葉 サトウ イロハ 身長 157cm 生年月日 2003/8/4 出身校 千葉経済大学附属高等学校	<b>26</b> SG 岩佐 姫花 イワサ ヒメカ 身長 165cm 生年月日 2005/4/5 出身校 聖カタリナ学園高等学校	<b>31</b> C 秋谷 詩 アキヤ ウタ 身長 175cm 生年月日 2005/1/6 出身校 柴田学園高等学校
<b>35</b> SG 京橋 菜々子 キヨハシ ナナコ 身長 167cm 生年月日 2004/5/1 出身校 名古屋女子大学高等学校	<b>70</b> SF 皆川 もえ ミナガワ モエ 身長 169cm 生年月日 2003/9/3 出身校 山村学園高等学校	<b>73</b> SF 今野 希和 コンノ キワ 身長 170cm 生年月日 2003/4/30 出身校 札幌山の手高等学校	<b>80</b> C 佐藤 双羽 サトウ フタバ 身長 176cm 生年月日 2003/7/22 出身校 大阪薫英女学院高等学校

## ■ STAFF



### HEAD COACH

ヘッドコーチ 林 五十美 ハヤシ イソミ	マネージャー 黒部 志穂 クロベ シホ
ファーストアシスタントコーチ 外村 悠貴 トムラ ユウキ	アシスタントマネージャー 中西 布羽 ナカニシ フウ
トレーナー 伊藤 美和子 イトウ ミワコ	学生スタッフ 田中 音羽 タナカ オトハ

ヘッドコーチ 林 五十美 ハヤシ イソミ	マネージャー 黒部 志穂 クロベ シホ
ファーストアシスタントコーチ 外村 悠貴 トムラ ユウキ	アシスタントマネージャー 中西 布羽 ナカニシ フウ
トレーナー 伊藤 美和子 イトウ ミワコ	学生スタッフ 座親 このみ ザオヤ コノミ



# 笠戸ブレイブスター

中国ブロック代表

皇后杯最高成績  
ファイナルラウンド  
出場



## ブロック代表枠

## セカンドラウンド 予選結果

山口	笠戸ブレイブスター	81
鳥取	鳥取城北高等学校	66
広島	BUZZER	83
岡山	環太平洋大学	76
島根	県立松江商業高等学校	65
		39
		79
		66
		笠戸ブレイブスター

実業団チームの日立笠戸として活動してきたが、より上のステージを目指すために、昨年度から笠戸ブレイブスターとして新たにスタートを切った。今年度はSB2西日本女子リーグ1位を確定、皇后杯セカンドラウンドでも中国ブロックを勝ち抜いた。ファイナルラウンドでは1回戦を突破し、Wリーグ勢に挑戦するのが目標。

<b>4</b>	SG	
<b>金城 麻樹</b>		
カネシロ マキ		
身長	<b>165cm</b>	
生年月日	2000/10/10	
出身校	大阪産業大学	

<b>5</b>	PF	
<b>福永 愛</b>		
フクナガ アイ		
身長	<b>168cm</b>	
生年月日	2002/11/12	
出身校	大阪産業大学	

<b>6</b>	SG	
<b>関口 奈優</b>		
セキグチ ナユ		
身長	<b>164cm</b>	
生年月日	2002/7/29	
出身校	広島都市学園大学	

<b>7</b>	SG	
<b>藤井 花歩</b>		
フジイ カホ		
身長	<b>158cm</b>	
生年月日	2001/12/3	
出身校	日本経済大学	

<b>8</b>	PF	
<b>山野 沙彩</b>		
ヤマノ サヤ		
身長	<b>170cm</b>	
生年月日	2000/9/4	
出身校	天理大学	

<b>9</b>	PF	
<b>山永 友美</b>		
ヤマナガ ユミ		
身長	<b>173cm</b>	
生年月日	1996/2/29	
出身校	倉敷芸術科学大学	

<b>10</b>	PG	
<b>桑原 結衣</b>		
クワハラ ユイ		
身長	<b>157cm</b>	
生年月日	1998/7/27	
出身校	日本経済大学	

<b>11</b>	SF	
<b>山成 歩</b>		
ヤマナリ アユミ		
身長	<b>171cm</b>	
生年月日	1997/5/23	
出身校	名古屋経済大学	

<b>12</b>	SF	
<b>佐藤 杏音</b>		
サトウ キヨウト		
身長	<b>170cm</b>	
生年月日	2002/12/3	
出身校	順天堂大学	

<b>13</b>	PG	
<b>木村 美月</b>		
キムラ ミヅキ		
身長	<b>155cm</b>	
生年月日	2002/3/6	
出身校	大阪産業大学	

<b>14</b>	PF	
<b>中久保 蘭</b>		
ナカクボ ラン		
身長	<b>172cm</b>	
生年月日	2003/2/5	
出身校	東海大学九州	

<b>15</b>	SG	
<b>鈴木 恋杏</b>		
スズキ レア		
身長	<b>164cm</b>	
生年月日	2002/10/21	
出身校	中部大学	

<b>16</b>	SG	
<b>幕 凪沙</b>		
マク ナギサ		
身長	<b>166cm</b>	
生年月日	2002/10/14	
出身校	武庫川女子大学	

## ■ STAFF



## 代表

池部 宏 イケベ ヒロシ

## マネージャー

武村 奈保 タケムラ ナホ

## ヘッドコーチ

梅田 貴之 ウメダ タカユキ

## ファーストアシスタントコーチ

奥田 つかさ オオタ ツカサ



# トヨタ自動車アンテロープス

Wプレミア5位

皇后杯最高成績

優勝(2012年度)



## トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

Wリーグ プレミアにおいてレギュラーシーズンの首位を走るトヨタ自動車。機動力あるガード陣を筆頭に常にプレッシャーをかけ続けるディフェンスが強みだ。そのガードでは山本麻衣、安間志織がオフェンスの中心を担い、速い攻めを演出。自らの得点力も高い選手たちで、相手にとっては厄介な存在だ。インサイドでは新人のオコンクウォ スザン アマカが得点やリバウンドを量産。2年目の岡本美優、田中平和らも体を張った動きで支えている。また、ウイングには平下愛佳や三浦舞華ら外角シュートを得意とする選手たちも構えており、隙のない布陣といえる。Wリーグでの快進撃そのままに、今大会は2013年以来の優勝を奪いにいく。

<b>1</b> PG 古木 梨子 フルキ リコ 身長 158 cm 生年月日 2001/5/3 出身校 東京医療保健大学	<b>3</b> PG 小野寺 佑奈 オノデラ ユウナ 身長 157 cm 生年月日 2002/3/24 出身校 日本体育大学	<b>7</b> PG 横山 智那美 ヨコヤマ チナミ 身長 173 cm 生年月日 2004/4/6 出身校 桜花学園高等学校	<b>8</b> SF 金田 愛奈 カネダ マナ 身長 175 cm 生年月日 1998/7/9 出身校 大阪人間科学大学
<b>11</b> PF 岡本 美優 オカモト ミユウ 身長 179 cm 生年月日 2001/4/23 出身校 東京医療保健大学	<b>13</b> C オコンクウォ スザン アマカ 身長 187 cm 生年月日 2002/4/7 出身校 白鶲大学	<b>14</b> SF 平下 愛佳 ヒラシタ アイカ 身長 178 cm 生年月日 2002/1/14 出身校 桜花学園高等学校	<b>15</b> PG 安間 志織 ヤスマ シオリ 身長 162 cm 生年月日 1994/7/22 出身校 拓殖大学
<b>20</b> SF 永田 萌絵 ナガタ モエ 身長 175 cm 生年月日 1997/6/20 出身校 東京医療保健大学	<b>23</b> PG 山本 麻衣 ヤマモト マイ 身長 163 cm 生年月日 1999/10/23 出身校 桜花学園高等学校	<b>24</b> C シュック カイリー アネット 身長 196 cm 生年月日 1998/3/18 出身校 ルイビル大学	<b>30</b> SG 三浦 舞華 ミウラ マイカ 身長 170 cm 生年月日 2001/8/13 出身校 白鶲大学
<b>42</b> PF 田中 平和 タナカ ウフオマ 身長 181 cm 生年月日 2002/2/10 出身校 白鶲大学			

## ■ STAFF

<b>HEAD COACH</b> 	<b>ヘッドコーチ</b> 大神 雄子 オオガ ユウコ	<b>プレイヤーズディベロップメント</b> 山本 栄輔 ヤマモト シュウスケ	<b>パフォーマンスディレクター</b> 吉岡 淳平 ヨシオカ ジュンペイ
	<b>アソシエイトヘッドコーチ</b> イヴァントリノス	<b>テクニカルスタッフ</b> 千木良 知春 チギラ チハル	<b>フィジカルコンディショニングコーチ</b> 藤井 翔太 フジイ ショウタ
	<b>アシstantコーチ</b> 武津 祐太郎 タケツ ユウタロウ	<b>サポートスタッフ</b> 川井 烈 カワイ レツ	<b>トレーナー</b> 石山 静香 イシヤマ シズカ



# 日立ハイテク クーガーズ

皇后杯最高成績

ベスト4  
(2020年度)

## トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

今シーズンのWリーグではフューチャーに属している日立ハイテクだが、そのフューチャーでは14試合を終えた時点で12勝2敗で1位。期待の若手ガードである森岡ほのかのケガによる長期離脱は痛いが、司令塔の樋口鈴乃、新人の館山萌菜、ENEOSから移籍し優勝経験もある高田静、外国籍選手のファール アミナタにデヴォス ローレと、今シーズンより加入した選手たちが躍動。チーム在籍4年目を迎える中野由希もリバウンドやディフェンスなど粘りのプレーで支えている。ほかにも新人の栗谷真帆ら名前を挙げればキリがないほど選手それぞれが持ち味を発揮。誰がスターターで出てもおかしくない戦力を誇っているだけに、皇后杯では台風の目となるか!?

11 C ファール アミナタ	13 SG 池松 美波	14 PG 森岡 ほのか	18 PG 樋口 鈴乃
身長 198cm 生年月日 2004/11/11 出身校 日本経済大学	イケマツ ミナミ 身長 166cm 生年月日 2001/12/19 出身校 東京医療保健大学	モリオカ ホノカ 身長 173cm 生年月日 2004/11/18 出身校 札幌山の手高等学校	ヒグチ スズノ 身長 163cm 生年月日 2001/6/12 出身校 白鷗大学
19 SF 館山 萌菜	21 PG 高田 静	30 SF 水野 妃奈乃	32 SG 河村 美侑
タテヤマ モナ 身長 177cm 生年月日 2002/11/6 出身校 白鷗大学	タカダ シズカ 身長 168cm 生年月日 1996/6/21 出身校 早稲田大学	ミズノ ヒナノ 身長 173cm 生年月日 1997/2/4 出身校 拓殖大学	カワムラ ミユ 身長 171cm 生年月日 1998/5/12 出身校 専修大学
34 SF 林 未紗	35 PF デヴォス ローレ	45 PF 栗谷 真帆	51 SF 中野 由希
ハヤシ ミサ 身長 176cm 生年月日 2001/4/1 出身校 筑波大学	身長 185cm 生年月日 1999/4/14 出身校 コロラド州立大学	アワタニ マホ 身長 182cm 生年月日 2002/12/6 出身校 筑波大学	ナカノ ユキ 身長 181cm 生年月日 1996/9/28 出身校 福岡大学
74 SF 國井 仁奈梨	81 PF 森岡 奈菜未		
クニイ ヒナリ 身長 175cm 生年月日 2001/9/20 出身校 愛知学泉大学	モリオカ ナナミ 身長 181cm 生年月日 2001/8/10 出身校 筑波大学		

## ■ STAFF



## HEAD COACH

ヘッドコーチ 柏倉 秀徳	S&Cコーチ 西田 貴之	マネージャー 鈴木 彩可
アソシエイトヘッドコーチ 知花 武彦	トレーナー 間宮 千夏	スズキ アヤカ
アシスタントコーチ 浅野 秀太	トレーナー 大串 梨沙	シノハラ メグミ

サポートスタッフ 篠原 恵	通訳 志田 萌
シノハラ メグミ	シダ モエ



# 江戸川大学

関東ブロック代表

皇后杯最高成績  
ファイナルラウンド  
初出場



## ブロック代表枠

### セカンドラウンド 予選結果(ベスト4以上)

埼玉	共栄大学	93
茨城	筑波大学	92
千葉	江戸川大学	87
東京	拓殖大学	82

江戸川大学

関東リーグ2部に所属し、リーグ戦は4位と苦戦したが、皇后杯セカンドラウンドでは関東ブロックを制し、初のファイナルラウンド進出。12月のインカレでも目標としていた初のベスト16入りを果たした。インサイドを堅実に攻め、ディフェンスからトランジションを繰り出し、一つでも多く勝ち上がるのが目標だ。



## ■ STAFF

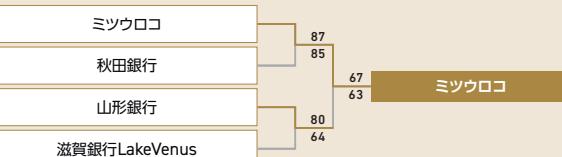


HEAD COACH	部長	トレーナー	マネージャー
	守屋 志保 モリヤシホ	増田 修大 マスダナオヒロ	前田 紫音 マエダシオン
	ヘッドコーチ 石川 優希 イシカワユウキ	トレーナー 宮川 楓 ミヤガワカエデ	マネージャー 蛇名 佳笑 エビナカエ
	ファーストアシスタントコーチ 樋口 葉帆 ヒグチシホ	トレーナー 大森 典子 オオモリノリコ	



## 社会人推薦枠

2025年度 高松宮記念杯全日本社会人プレミアムチャンピオンシップ  
(ベスト4以上)



2012年のチーム発足以来、着実に強化を進めてきたミツウロコ。ついに昨年度の全日本社会人プレミアムチャンピオンシップで優勝を果たし、社会人1位として皇后杯の出場権を手にした。社会人トップカテゴリーのSBリーグに参戦し、昨年度優勝、今年度も12月21日時点で1位と好調。堅いディフェンスを武器に一戦必勝で皇后杯に臨む。

<b>2</b> SF 志村 愛莉 シムラ アイリ 身長 172cm 生年月日 2002/12/5 出身校 専修大学	<b>5</b> PG 中村 帆香 ナカムラ ホノカ 身長 170cm 生年月日 2003/1/27 出身校 専修大学	<b>6</b> SG 清水 咲来 シミズ サクラ 身長 168cm 生年月日 2001/3/10 出身校 大阪人間科学大学	<b>11</b> PG 田中 万衣羽 タナカ マイハ 身長 160cm 生年月日 2001/8/13 出身校 筑波大学
<b>12</b> PF 小林 美穂 コバヤシ ミホ 身長 177cm 生年月日 2001/9/20 出身校 白鶲大学	<b>14</b> C カマラ アセトウ イマラ ユウカ 身長 183cm 生年月日 2001/5/21 出身校 拓殖大学	<b>15</b> SF 矢野 里美 ヤノ サトミ 身長 171cm 生年月日 2002/12/11 出身校 日本体育大学	<b>17</b> PF 狩野 美里 カノウ ミサト 身長 178cm 生年月日 2002/1/28 出身校 拓殖大学
<b>18</b> PF 内海 海 ウツミ ミウ 身長 172cm 生年月日 2001/3/27 出身校 大阪人間科学大学	<b>19</b> SG 今村 優花 イマムラ ユウカ 身長 155cm 生年月日 1998/7/20 出身校 白鶲大学	<b>20</b> C 増田 泉美 マスダ イズミ 身長 180cm 生年月日 2001/6/12 出身校 筑波大学	<b>23</b> PF 小鷹 実春 コタカ ミハル 身長 176cm 生年月日 1999/3/26 出身校 白鶲大学
<b>25</b> PF 木村 瑞希 キムラ ミズキ 身長 175cm 生年月日 2001/6/25 出身校 日本体育大学	<b>28</b> PF 篠崎 来夢 シノザキ ライム 身長 171cm 生年月日 2000/12/21 出身校 専修大学		

## ■ STAFF

<b>HEAD COACH</b> 	<b>部長</b> 二見 敦 フタミ アツシ	<b>ファーストアシスタントコーチ</b> 川守 立真 カワモリ リュウマ	<b>マネージャー</b> 須藤 彩季 スドウ サキ
<b>コーチ</b> 長澤 孝幸 ナガサワ タカユキ	<b>コーチ</b> 山崎 拓 ヤマサキ タク		<b>マネージャー</b> 岡田 空 オカダ ソラ
<b>ヘッドコーチ</b> 石川 歩 イシカワ アユミ	<b>コーチ</b> 工藤 太陽 クドウ タイヨウ		



# 三菱電機 コアラーズ

Wフューチャー2位

皇后杯最高成績

優勝(1963年度)



## トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

2018-19シーズンにはWリーグで準優勝、皇后杯では2020年大会でベスト4という成績を収めた三菱電機。ここ数シーズンは新たなスタイルを構築しているところだ。Wリーグでは思うように勝ちにつながらない試合もあったが、キャプテンの澤知央や山本雪鈴といった若手選手が着実に経験を積んでおり、今シーズンより移籍で加入した中村華祈もアグレッシブにプレー。中堅の永井唯菜、大崎万葉らは大事な場面でのシュートが光り、Wリーグ準優勝を経験している渡邊亜弥や小菅由香らの存在も大きい。フューチャーリーグで得点ランキング1位を走るサイシャゴリーのインサイドプレーも強烈で、今大会でも虎視眈々と上位進出を狙っている。

<b>O</b>	<b>C</b>		<b>3</b>	<b>SF</b>		<b>4</b>	<b>SG</b>		<b>5</b>	<b>PG</b>	
ティヤ・ コースティル			永井 唯菜			根本 葉瑠乃			高橋 芙由子		
身長 <b>184cm</b>			ナガイ ユイナ	身長 <b>177cm</b>		ネモト ハルノ	身長 <b>176cm</b>		タカハシ フユコ		
生年月日 1999/1/5			生年月日 1999/11/3			生年月日 1995/4/18			身長 <b>164cm</b>		
出身校 デューク大学			出身校 大学板桐高 等学校			出身校 常葉学園高等 学校			生年月日 1994/11/23		
<b>7</b>	<b>PG</b>		<b>9</b>	<b>PF</b>		<b>11</b>	<b>SG</b>		<b>12</b>	<b>PG</b>	
トビン ブランドーミヤビ			小菅 由香			山本 雪鈴			吉田 亜沙美		
身長 <b>171cm</b>			コスグ ユカ	身長 <b>181cm</b>		ヤマモト ユリン	身長 <b>165cm</b>		身長 <b>165cm</b>		
生年月日 2003/12/7			生年月日 1991/12/9			生年月日 2004/12/31			生年月日 1987/10/9		
出身校 パシフィック・ ルーザン大学			出身校 日本体育大学			出身校 大阪桐蔭高等 学校			出身校 東京成徳大学 高等学校		
<b>14</b>	<b>SF</b>		<b>17</b>	<b>PG</b>		<b>22</b>	<b>C</b>		<b>24</b>	<b>SG</b>	
大崎 万葉			榎本 麻那			サイーシャ・ ゴリー			中村 華祈		
オオサキ マナ			エノモト マナ	身長 <b>176cm</b>		身長 <b>188cm</b>			ナカムラ カノン		
身長 <b>173cm</b>			生年月日 2005/8/17			生年月日 1993/8/4			身長 <b>172cm</b>		
生年月日 2002/5/3			出身校 岐阜女子高等 学校			出身校 ミシガン大学			生年月日 2003/1/24		
出身校 高知中央高等 学校									出身校 札幌山の手高 等学校		
<b>38</b>	<b>PF</b>		<b>39</b>	<b>PG</b>		<b>45</b>	<b>SG</b>		<b>77</b>	<b>C</b>	
澤 知央			藤田 和			渡邊 亜弥			金澤 英果		
サワ チヒロ			フジタ ノドカ	身長 <b>173cm</b>		ワタナベ アヤ	身長 <b>169cm</b>		カナザワ ハナカ		
身長 <b>178cm</b>			生年月日 2001/7/5			生年月日 1992/8/12			身長 <b>180cm</b>		
生年月日 2004/10/2			出身校 岐阜女子高等 学校			出身校 福岡大学附属 若葉高等学校			生年月日 2000/12/27		
出身校 龍谷富山高等 学校									出身校 大阪人間科学 大学		

## ■ STAFF

<b>HEAD COACH</b>	<b>部長</b>	<b>アシスタントコーチ</b>	<b>ストレングス&amp;コンディショニングコーチ</b>
	山田 耕司	ヤマダ コウジ	小田 宏紀
			オダ ヒロキ
<b>ヘッドコーチ</b>	<b>サポートスタッフ兼通訳</b>	<b>チーフトレーナー</b>	
古賀 京子	コガ キヨウコ	行本 渚	ユキモト ナギサ
<b>アソシエイトヘッドコーチ</b>	<b>ビデオアナリスト</b>	<b>マネージャー</b>	
小野寺 龍太郎	オノデラ リュウタロウ	山本 悠太	ナカシマ ソラ



## ブロック代表枠

## セカンドラウンド結果

秋田	秋田銀行	92
福島	遊籠俱楽部	70
岩手	富士大学	49
青森	八戸学院大学	57
山形	県立山形中央高等学校	65
宮城	仙台大学	55
		61
		102
		74
	秋田銀行	

2023年度には全日本社会人プレミアムチャンピオンシップで4年ぶり3度目の優勝を果たしている強豪。今年度は皇后杯セカンドラウンドを勝ち上がり、東北ブロック代表としてファイナルラウンド出場権を獲得。今大会では「一戦必勝」の心構えで、最後まで走り切るバスケットボールを披露する。



## ■ STAFF

## HEAD COACH



## ヘッドコーチ

佐藤 清美 サトウ キヨミ

## チームスタッフ

夏井 一志 ナツイ カズシ

## アシスタントコーチ

阿部 優美香 アベ ユウカ

## トレーナー

鈴木 唯 スズキ ユイ

## 監督

近藤 公治 コンドウ コウヤ

## マネージャー

石川 眞子 イシカワ マコ



# ENEOSサンフラワーズ

Wプレミア4位

皇后杯最高成績  
優勝(27回、2013年  
度から10連覇)



## トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

皇后杯10連覇という大会記録を持つENEOSは、女子バスケットボール界を引っ張ってきたチームだ。だが、前々大会では準優勝、前回大会にいたってはベスト8に甘んじている。それだけに、今大会では女王奪還が唯一の目標となる。ダブルキャプテンの星杏璃と宮崎早織のガード陣や今シーズンからENEOSの一員となった馬瓜エブリン、外国籍のプレッチャエル・レイン・アシュテンらが軸。196cmのアシュテンリほか、188cmの梅沢カディシヤ・樹奈など180cm台は4人。170cm台後半の選手も多く、高さではWリーグで一番を誇る。3大会ぶりの優勝へ。今シーズンをもって引退を表明している宮崎や日本代表で目覚ましい活躍を見せた2年目の田中こころのプレーからも目が離せない。

<b>0</b> PF 馬瓜 エブリン マウリ エブリン 身長 180cm 生年月日 1995/6/2 出身校 桜花学園高等学校	<b>5</b> SF 藤本 愛瑚 フジモト マコ 身長 179cm 生年月日 1999/10/1 出身校 桜花学園高等学校	<b>8</b> SF 花島 百香 ハナシマ モモカ 身長 178cm 生年月日 2003/4/22 出身校 昭和学院高等学校	<b>11</b> C プレッチャエル・アシュテン 身長 196cm 生年月日 2001/5/11 出身校 スタンフォード大学
<b>12</b> PG 佐藤 由佳 サトウ ユカ 身長 172cm 生年月日 1999/9/18 出身校 筑波大学	<b>17</b> SF 三田 七南 サンタ ナナ 身長 179cm 生年月日 2002/10/2 出身校 昭和学院高等学校	<b>24</b> C 梅沢 カディシヤ・樹奈 ウメザワ カディシヤ・ジュナ 身長 188cm 生年月日 1998/7/26 出身校 桜花学園高等学校	<b>25</b> PF 山下 笑伶奈 ヤマシタ エレナ 身長 180cm 生年月日 2007/2/2 出身校 昭和学院高等学校
<b>26</b> PG 田中 こころ タナカ ココロ 身長 173cm 生年月日 2006/1/10 出身校 桜花学園高等学校	<b>27</b> SF 八木 悠香 ヤギ ハルカ 身長 177cm 生年月日 2005/4/15 出身校 京都精華学園高等学校	<b>32</b> PG 宮崎 早織 ミヤザキ サオリ 身長 167cm 生年月日 1995/8/27 出身校 聖カタリナ学園高等学校	<b>38</b> SG 鈴置 彩夏 スズオキ サヤカ 身長 170cm 生年月日 2000/10/9 出身校 白鶲大学
<b>59</b> SG 星 杏璃 ホシ アンリ 身長 171cm 生年月日 2000/5/9 出身校 昭和学院高等学校	<b>99</b> PF オコエ 桃仁花 オコエ モニカ 身長 182cm 生年月日 1999/2/7 出身校 明星学園高等学校		

## ■ STAFF

<b>HEAD COACH</b> 	<b>監督</b> 佐久本 智 サクモト サトシ	<b>S&amp;Cコーチ</b> 千葉 秀哉 チバヒデヤ	<b>スキルディベロップメントスタッフ</b> スキート ジャレン
<b>ヘッドコーチ</b> ティム・ルイス	<b>チーフトレーナー</b> 内田 幸織 ウチダ サオリ	<b>トレーナー</b> 鄭 愛華 チョン エファ	<b>スキルディベロップメントスタッフ</b> 大浦 宗博 オオウラ ムネヒロ
<b>マネージャー</b> 小松 佳緒里 コマツ カオリ			<b>通訳</b> 伊波 壱成 イハ イッセイ

**CAP** キャプテン **外** 外国籍 **帰** 帰籍

# 皇后杯

EMPRESS'S CUP BASKETBALL 2025-26

## 皇后杯の記録

### ●前回大会(第91回大会/2024年度)の記録



### 皇后杯ファイナルラウンド

## 富士通が17大会ぶり4度目の王座! ファイナル初進出のアイシンを65-55で下す

第91回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会は、2024年12月15日に国立競技場代々木第二体育館で行われた決勝で富士通 レッドウェーブがアイシン ウィングスを破り、17大会ぶり4度目となる日本一に輝いた。直近の3年間は連続で準決勝の壁に跳ね返されてきた富士通。しかしふてランシューターの林咲希を故障で欠く中、2次ラウンドからの4試合全てで失点を50点台にとどめる堅守に加え、宮澤夕貴や町田瑠唯らがオフェンスでも奮起。初のファイナル進出で一気に頂点を目指したアイシンの勢いを封じ、みごと王座にたどり着いた。

全国47都道府県代表とWリーグ所属14チームの総勢61チームが参加し、賜杯を目指した今大会ではWリーグ勢が概ね順調に勝ち上がり、上位を占める流れとなった。その中で、1次ラウンド1回戦を突破した京都精華学園高校と宮崎県立小林高校、アルビレックス新潟BBラビッツを破って2次ラウンド決勝進出を果たした山形銀行の殊勲の勝利が光る。また、当時Wリーグフューチャー所属だった東京羽田ヴィッキーズは、同Wリーグプレミア所属の日立ハイテク クーガーズを2次ラウンド決勝で下してファイナルラウンドに駒を進めた。

8チーム全てがWリーグ勢となったクォーターファイナルでは、タフなディフェンス力を発揮してトヨタ紡織 サンシャインラビッツを下した富士通、前年の覇者らしく東京羽田を38点差で一蹴したデンソー アイリス、シャンソン化粧品 シャンソンVマジックとの接戦をしのいだアイシン、そしてENEOSサンフラワーズのベスト4連続進出記録を48大会で止めたトヨタ自動車 アンテロープスが勝ち上がった。前シーズンのWリーグファイナルと同カードとなった富士通vsデンソーのセミファイナルは59-56で富士通に軍配。ベスト4初進出のアイシンと、クォーターファイナルでENEOSの分厚い壁を打ち破ったトヨタ自動車の一戦は、これもロースコアの激戦をアイシンが58-56でしのいだ。

実績・経験面では富士通に分があったファイナル。しかしアイシンは、

移籍初年度のベテラン渡嘉敷来夢が試合開始早々からゴール下のパワープレーや3ポイントシュートでチームをけん引。若手の野口さくらもはつらつとしたプレーを見せ、第1クォーター終了時点で18-15とリード。アイシンは第2クォーターに入りても渡嘉敷や野口が得点力を発揮。流れを渡さず38-29とリード広げて後半を迎えた。

しかし第3クォーターに入ると、強度を高めた富士通のディフェンスにアイシンの勢いが鈍る。前半15得点の渡嘉敷はこのクォーター4得点のみ。インサイドの要を失速させた富士通は後半の失点をわずか17にとどめ、主導権を奪い勝ち切った。富士通はオフェンスでも、渡嘉敷に対抗するように前半14得点を挙げた宮澤が最終的に21得点まで数字を伸ばし、前半2得点だったジョシュア シンフォンノボンテミトペも終わってみれば13得点。内尾聰菜は10得点に加えゲームハイの12リバウンドで、宮澤(11リバウンド)とともにダブルダブルを記録した。

試合後、富士通のBTテープスHCは「苦しい戦いとなりましたが、選手たちがディフェンスで我慢し続けてくれました」とチームをねぎらい勝利を喜んだ。大会MVPに輝いたキャプテンの宮澤は、「この大会を通してディフェンスで我慢できたと思っています」と話し、「(前半)守るべきところを守れなかったところは今後の課題だと思いますが、後半はそこを修正してアジャストできたのはこのチームの強みだと思えました」と堅守に自信を見せた。

後半の7アシストを含むゲームハイの9アシストと本領を発揮したプレーメーカーの町田瑠唯は、「皇后杯優勝を目指しますは取り組んできたので、それが達成できて良かった」と、ほっとした様子。ベスト5にも輝く活躍だったが、「Wリーグがないこの期間で、もう一度チームとしてレベルアップして後半戦に臨んでいけるようにしたいです」と先を見据え早くも意欲を高めていた。なお、宮澤と町田のほか、ベスト5には富士通の内尾、アイシンの渡嘉敷と野口が選出された。



## 2024年度 第91回皇后杯 ファイナルラウンド全試合結果

### 12月11日(水) [準々決勝]

チーム名	スコア				
	1st	2nd	3rd	4th	Total
トヨタ紡織 サンシャインラビッツ	13	16	16	11	56
富士通 レッドウェーブ	16	14	21	18	69
デンソー アイリス	34	18	19	18	89
東京羽田ヴィッキーズ	11	16	9	15	51

### 12月12日(木) [準々決勝]

チーム名	スコア				
	1st	2nd	3rd	4th	Total
アイシン ウィングス	20	19	14	7	60
シャンソンノン化粧品 シャンソンノンマジック	13	17	15	11	56
ENEOSサンフラワーズ	12	22	10	18	62
トヨタ自動車 アンテロープス	19	21	9	24	73

### 12月14日(土) [準決勝]

チーム名	スコア				
	1st	2nd	3rd	4th	Total
富士通 レッドウェーブ	16	15	14	14	59
デンソー アイリス	14	12	17	13	56
アイシン ウィングス	21	11	14	12	58
トヨタ自動車 アンテロープス	16	17	10	13	56

### 12月15日(日) [決勝]

チーム名	スコア				
	1st	2nd	3rd	4th	Total
富士通 レッドウェーブ	15	14	14	22	65
アイシン ウィングス	18	20	9	8	55

### ■決勝個人記録

○ 富士通 レッドウェーブ 65 ( 15 - 18  
14 - 20  
14 - 9  
22 - 8 ) 55 ● アイシン ウィングス

### 富士通 レッドウェーブ

No	S	選手名	PTS	3P FG					2P FG					FT			F	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A	M	A	M	OR	DR	TOT										
2		林 真帆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP		
7		林 明咲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
8	*	ショジョアンファンポンテミトペ	13	0	0	4	10	5	8	2	3	5	8	0	1	2	0	29:42	-	-	-	-	-	-	
9	*	赤木 里帆	4	0	2	2	6	0	0	2	0	1	1	0	2	1	0	19:45	-	-	-	-	-	-	-
10	*	町田 瑠唯	5	1	2	1	4	0	0	0	2	0	2	3	9	2	0	37:42	-	-	-	-	-	-	-
12		奥 伊吹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
13		安江 沙碧梨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
17		山下 詩織	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
18		藤本 愛妃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
25	*	内尾 聰菜	10	2	5	1	3	2	2	1	4	8	12	0	1	1	0	33:45	-	-	-	-	-	-	-
27		江良 萌香	9	3	8	0	3	0	0	2	1	2	3	0	1	2	0	28:23	-	-	-	-	-	-	-
45		伊森 可琳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
52	*	宮澤 夕貴	21	3	9	3	9	6	6	0	2	9	11	2	1	2	2	34:14	-	-	-	-	-	-	-
81		宮下 希保	3	1	4	0	0	0	0	0	2	1	3	0	4	0	0	16:29	-	-	-	-	-	-	-
HC / TEAM			0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4	2											
合計			65	10	30	11	35	13	16	7	17	27	44	7	19	10	2	200:00							
														33.3%	31.4%	81.3%									

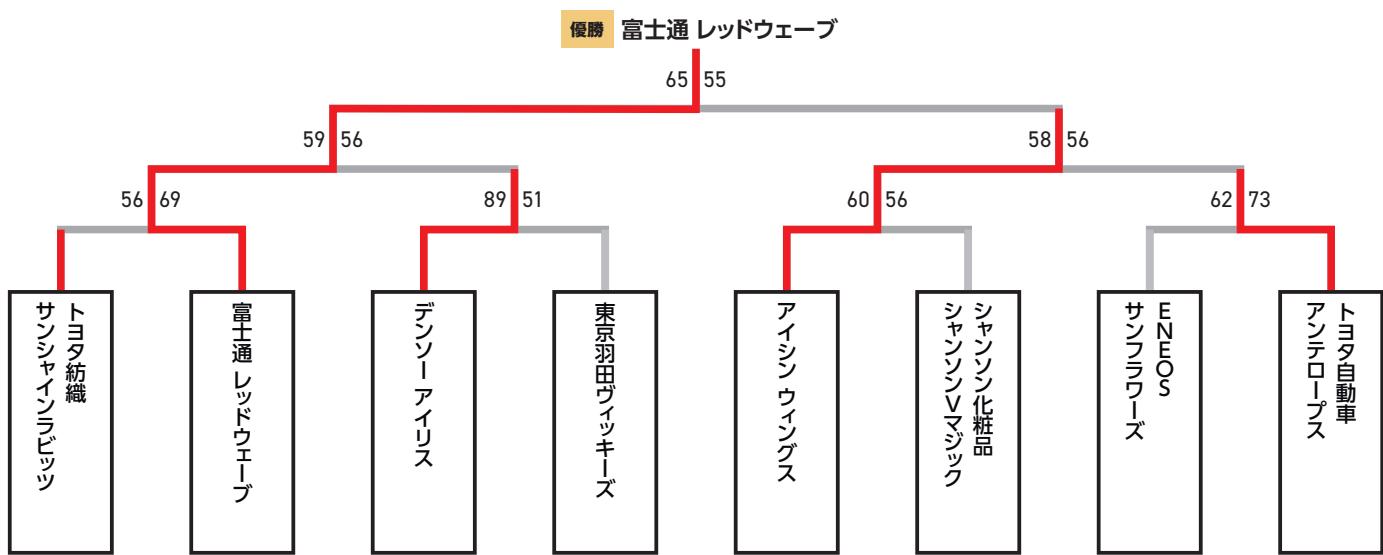
### アイシン ウィングス

No	S	選手名	PTS	3P FG					2P FG					FT			F	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A	M	A	M	OR	DR	TOT										
1	*	渡嘉敷 来夢	21	1	1	9	16	0	0	2	1	9	10	4	3	1	0	38:48	-	-	-	-	-	-	
2	*	岡本 彩也花	4	1	4	0	4	1	2	0	0	6	6	2	7	2	0	31:03	-	-	-	-	-	-	-
5		坂本 雅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
7		サンブ アストゥ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
10	*	野口 さくら	14	2	5	4	5	0	0	2	0	1	1	2	2	1	1	40:00	-	-	-	-	-	-	-
11		森口 朱音	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
12	*	吉田 亜沙美	3	1	2	0	1	0	0	1	2	2	4	1	0	0	0	20:55	-	-	-	-	-	-	-
13		平末 明香	2	0	3	0	0	2	2	3	0	0	0	0	0	0	0	8:57	-	-	-	-	-	-	-
14		近藤 京	5	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	10:16	-	-	-	-	-	-	-
20	*	山口 奈々花	6	2	7	0	1	0	0	3	2	3	5	1	0	0	1	30:56	-	-	-	-	-	-	-
33		大館 真央	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
55		酒井 彩等	0	0	0	0	4	0	0	1	1	2	3	3	4	0	0	19:05	-	-	-	-	-	-	-
HC / TEAM			0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5	1											
合計			55	8	23	14	32	3	4	13	7	27	34	15	16	4	2	200:00							
														34.8%	43.8%	75%									

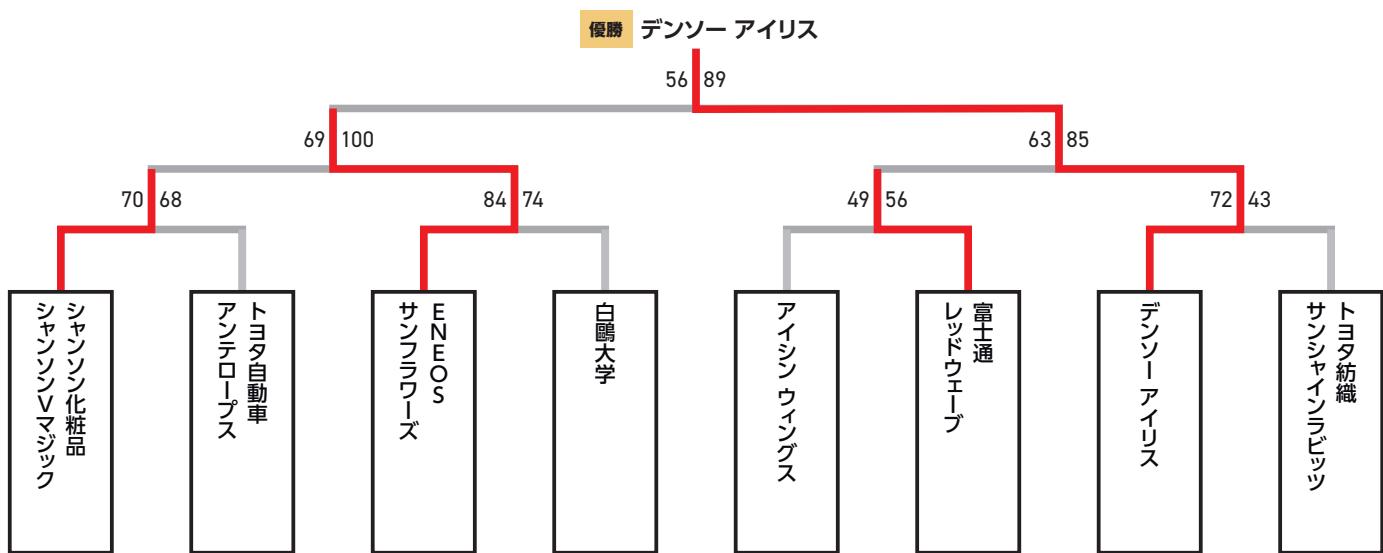
No: 背番号、S: スターター、PTS: 総得点、FG: フィールドゴール、M: 成功数、A: 試投数、%: シュート率、3P: 3ポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、F: ファウル、OR: オフェンス・リバウンド、DR: ディフェンス・リバウンド、TOT: リバウンド合計、TO: タイムオーバー、AS: アシスト、ST: スタイル、BS: ブロックショット、MIN: 出場時間

## ■ 過去大会の記録

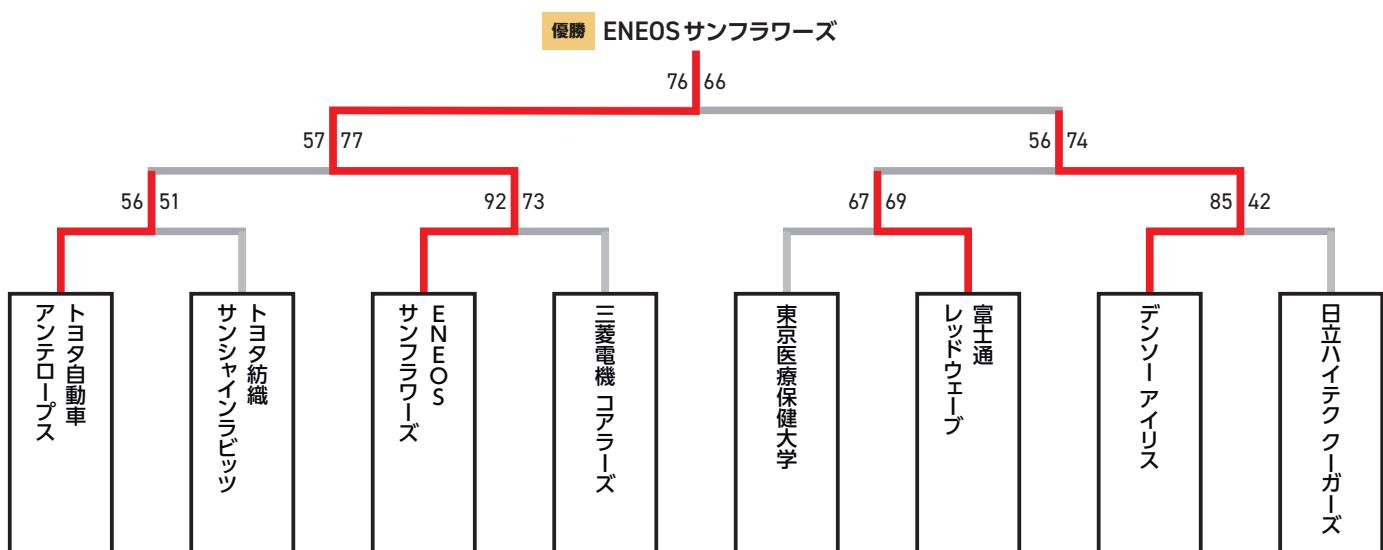
2024年度 第91回皇后杯 全日本総合バスケットボール大会(ファイナルラウンド)



2023年度 第90回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会(ファイナルラウンド)

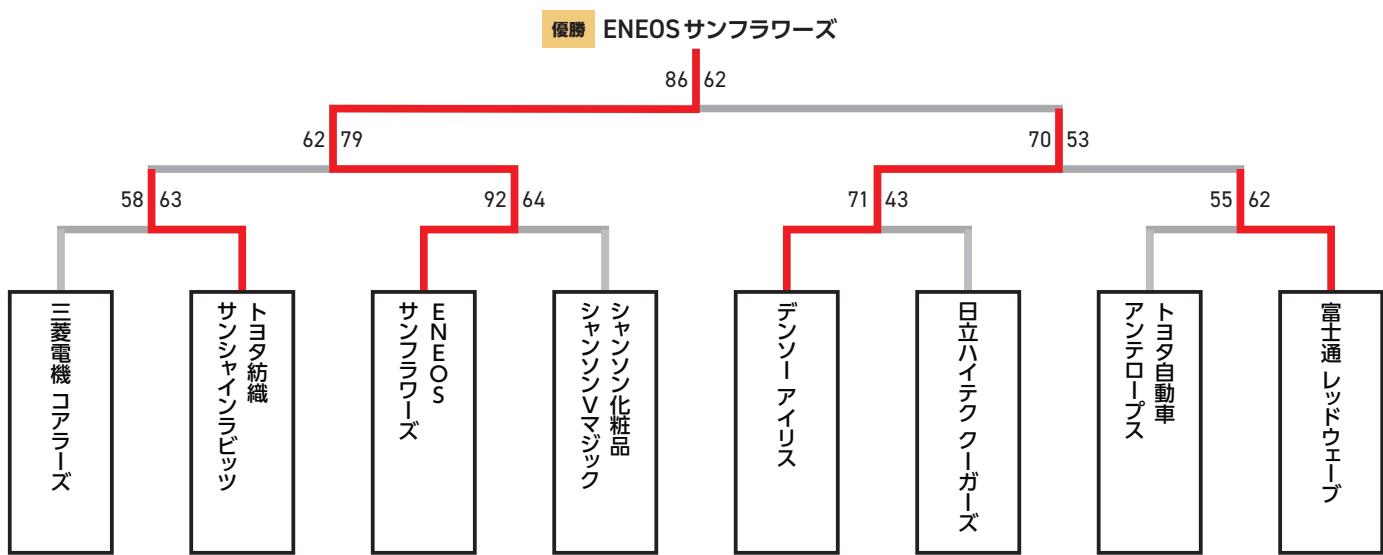


2022年度 第89回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会(ファイナルラウンド)

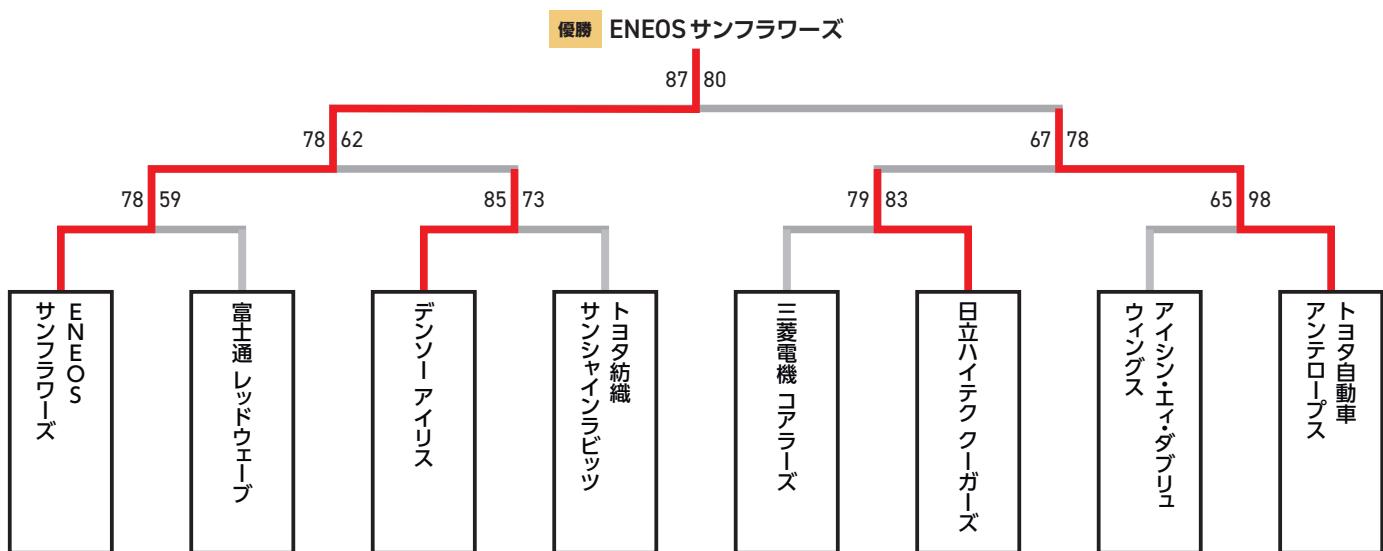


## ■ 過去大会の記録

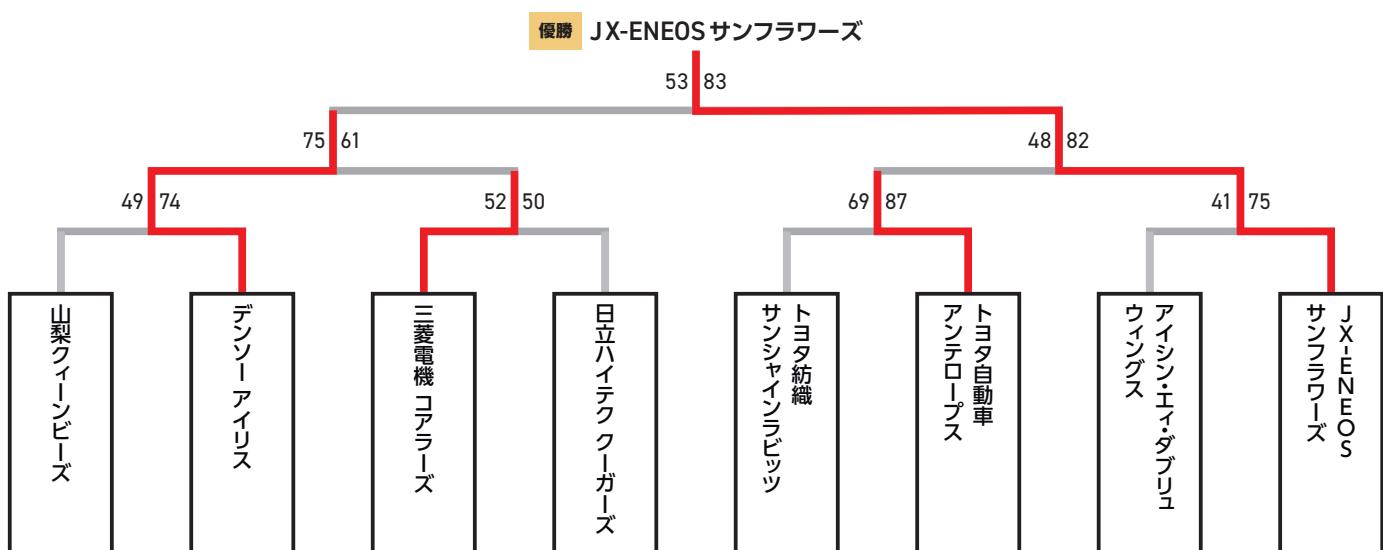
2021年度 第88回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会(ファイナルラウンド)



2020年度 第87回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会(ファイナルラウンド)



2019年度 第86回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会(ファイナルラウンド)



## ■ 大会ベスト5

### 第91回大会MVP&ベスト5

**町田 瑠唯**  
富士通 レッドウェーブ #10  
**6大会ぶり2回目**



**内尾 聰菜**  
富士通 レッドウェーブ #25  
**初受賞**



**宮澤 夕貴**  
富士通 レッドウェーブ #52  
**共同通信社MVP**  
**4大会ぶり4回目**  
**大会ベスト5**  
**4大会ぶり6回目**



**渡嘉敷 来夢**  
アイシン ウィングス #1  
**4大会連続14回目**



**野口 さくら**  
アイシン ウィングス #10  
**初受賞**



大会実施委員会 個人賞選考委員会選出／★=共同通信社 MVP

回	年度	受賞者名(チーム名) ○内の数字は選出回数				
91	令和6年度2024年12月	町田 瑠唯(富士通)②	内尾 聰菜(富士通)①	宮澤 夕貴(富士通)⑥／★④	渡嘉敷 来夢(アイシン)⑯	野口 さくら(アイシン)①
90	令和5年度2023年12月	馬瓜エブリン(デンソー)③	高田 真希(デンソー)⑦／★①	木村 茜美(デンソー)①	赤穂 ひまわり(デンソー)④	渡嘉敷 来夢(ENEOS)⑯
89	令和4年度2022年12月	林 咲希(ENEOS)②	渡嘉敷 来夢(ENEOS)⑫／★②	星 杏璃(ENEOS)①	赤穂 さくら(デンソー)②	赤穂 ひまわり(デンソー)③
88	令和3年度2021年12月	林 咲希(ENEOS)①／★①	渡嘉敷 来夢(ENEOS)⑪	岡本 彩也花(ENEOS)②	高田 真希(デンソー)⑥	赤穂 ひまわり(デンソー)②
87	令和2年度2020年12月	宮崎 早織(ENEOS)①	宮澤 夕貴(ENEOS)⑤／★③	馬瓜 エブリン(トヨタ自動車)②	安間 志織(トヨタ自動車)①	谷村 里佳(日立ハイテク)①
86	令和元年度2020年1月	渡嘉敷来夢(JX-ENEOS)⑩／★①	宮澤夕貴(JX-ENEOS)④	高田真希(デンソー)⑤	赤穂ひまわり(デンソー)①	渡邊亜弥(三菱電機)①
85	平成30年度2019年1月	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑨	宮澤 夕貴(JX-ENEOS)③／★②	馬瓜 エブリン(トヨタ自動車)①	長岡 萌映子(トヨタ自動車)④	町田 瑠唯(富士通)①
84	平成29年度2018年1月	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑧	大崎 佑圭(JX-ENEOS)③	宮澤 夕貴(JX-ENEOS)②／★①	高田 真希(デンソー)④	赤穂 さくら(デンソー)①
83	平成28年度2017年1月	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑦	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑦	宮澤 夕貴(JX-ENEOS)①	長岡 萌映子(富士通)③	本川 紗奈生(シャンソン化粧品)①
82	平成27年度2016年1月	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑥	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑥	岡本 彩也花(JX-ENEOS)①	間宮 佑圭(JX-ENEOS)②	高田 真希(デンソー)③
81	平成26年度2015年1月	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑤	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑤	高田 真希(デンソー)②	伊集 南(デンソー)①	長岡 萌映子(富士通)②
80	平成25年度2014年1月	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)④	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)④	間宮 佑圭(JX-ENEOS)①	川原 麻耶(トヨタ自動車)②	森 ムチャ(トヨタ自動車)①
79	平成24年度2013年1月	川原 麻耶(トヨタ自動車)①	矢野 良子(トヨタ自動車)⑥	池田 美麻(トヨタ自動車)②	渡嘉敷 来夢(JX)③	長岡 萌映子(富士通)①
78	平成23年度2012年1月	大神 雄子(JX)⑧	渡嘉敷 来夢(JX)②	吉田 亜沙美(JX)③	高田 真希(デンソー)①	矢野 良子(トヨタ自動車)⑤
77	平成22年度2011年1月	大神 雄子(JX)⑦	渡嘉敷 来夢(JX)①	吉田 亜沙美(JX)②	篠原 恵(富士通)①	名木 洋子(富士通)①
76	平成21年度2010年1月	大神 雄子(JOMO)⑥	吉田 亜沙美(JOMO)①	諏訪 裕美(JOMO)①	櫻田 佳恵(トヨタ自動車)①	久手堅 笑美(トヨタ自動車)①
75	平成20年度2009年1月	大神 雄子(JOMO)⑤	田中 利佳(JOMO)①	三谷 藍(富士通)②	矢野 良子(富士通)④	石川 幸子(シャンソン化粧品)①
74	平成19年度2008年1月	船引 かおり(富士通)①	矢野 良子(富士通)③	大神 雄子(JOMO)④	相澤 優子(シャンソン化粧品)②	榎原 紀子(トヨタ自動車)②
73	平成18年度2007年1月	船引 まゆみ(富士通)①	矢野良子(富士通)②	永田 瞳子(シャンソン化粧品)⑩	大神 雄子(JOMO)③	榎原 紀子(トヨタ自動車)①
72	平成17年度2006年1月	三谷 藍(富士通)①	矢野 良子(富士通)①	永田 瞳子(シャンソン化粧品)⑨	大神 雄子(JOMO)②	矢代 直美(日本航空)③
71	平成16年度2005年1月	薮内 夏美(日本航空)②	矢代 直美(日本航空)②	永田 瞳子(シャンソン化粧品)⑧	大神 雄子(JOMO)①	池田 美麻(トヨタ自動車)①
70	平成15年度2004年1月	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑨	大山 妙子(ジャパンエナジー)⑥	川畠 宏美(ジャパンエナジー)②	相澤 優子(富士通)①	永田 瞳子(シャンソン化粧品)⑦
69	平成14年度2003年1月	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑧	川畠 宏美(ジャパンエナジー)①	永田 瞳子(シャンソン化粧品)⑥	薮内 夏美(日本航空)①	矢野 優子(トヨタ自動車)①
68	平成13年度2002年1月	川上 香穂里(ジャパンエナジー)①	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑦	永田 瞳子(シャンソン化粧品)⑤	江口 真由美(デンソー)①	矢代 直美(日本航空)①
67	平成12年度2001年1月	桜庭 珠美(ジャパンエナジー)①	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑥	永田 瞳子(シャンソン化粧品)④	堀部 涼子(日本航空)①	古賀 京子(三菱電機)①
66	平成11年度2000年1月	三木 聖美(シャンソン化粧品)①	加藤 貴子(シャンソン化粧品)⑤	永田 瞳子(シャンソン化粧品)③	大山 妙子(ジャパンエナジー)⑤	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑤
65	平成10年度1999年1月	濱口 典子(ジャパンエナジー)④	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)⑥	大山 妙子(ジャパンエナジー)④	村上 瞳子(シャンソン化粧品)⑥	永田 瞳子(シャンソン化粧品)②
64	平成9年度1998年1月	濱口 典子(ジャパンエナジー)③	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)⑤	大山 妙子(ジャパンエナジー)③	加藤 貴子(シャンソン化粧品)④	村上 瞳子(シャンソン化粧品)⑤
63	平成8年度1997年1月	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)④	川崎 真由美(ジャパンエナジー)①	濱口 典子(ジャパンエナジー)②	村上 瞳子(シャンソン化粧品)④	永田 瞳子(シャンソン化粧品)①
62	平成7年度1996年1月	一乗 アキ(シャンソン化粧品)③	加藤 貴子(シャンソン化粧品)③	山田 かがり(シャンソン化粧品)①	村上 瞳子(シャンソン化粧品)③	濱口 典子(ジャパンエナジー)①
61	平成6年度1995年1月	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)③	原田 裕花(ジャパンエナジー)①	大山 妙子(ジャパンエナジー)②	一乗 アキ(シャンソン化粧品)②	加藤 貴子(シャンソン化粧品)②
60	平成5年度1994年1月	柿崎 宏江(シャンソン化粧品)①	加藤 貴子(シャンソン化粧品)①	村上 瞳子(シャンソン化粧品)②	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)②	大山 妙子(ジャパンエナジー)①
59	平成4年度1993年1月	一乗 アキ(シャンソン化粧品)①	タミー・ジャクソン(シャンソン化粧品)①	村上 瞳子(シャンソン化粧品)①	萩原 美樹子(日鉱共石)①	クラレッサ・デービス(日鉱共石)①

※平成3(1991)年度(大会は1992年1月)までは東京運動記者クラブバスケットボール分科会選考による「年間ベスト5」のみ表彰していたが、「年間ベスト5」の表彰がシーズン終了時に移行したため、新たに「全日本総合バスケットボール選手権大会ベスト5」を平成4(1992)年度(大会は1993年1月)から設けた。

## ■ 年次記録

回	年	開催地	1位	2位	3位	4位
91	令和6年度 2024年12月	東京	富士通	アイシン	デンソー	トヨタ自動車
90	令和5年度 2023年12月	東京	デンソー	ENEOS	シャンソン	富士通
89	令和4年度 2022年12月	東京	ENEOS	デンソー	トヨタ自動車	富士通
88	令和3年度 2021年12月	東京	ENEOS	デンソー	トヨタ紡織	富士通
87	令和2年度 2020年12月	東京	ENEOS	トヨタ自動車	デンソー	日立ハイテク
86	令和元年度 2020年1月	埼玉	JX-ENEOS	デンソー	三菱電機	トヨタ自動車
85	平成30年度 2019年1月	埼玉	JX-ENEOS	トヨタ自動車	デンソー	富士通
84	平成29年度 2018年1月	埼玉	JX-ENEOS	デンソー	トヨタ自動車	富士通
83	平成28年度 2017年1月	東京	JX-ENEOS	富士通	トヨタ自動車	シャンソン化粧品
82	平成27年度 2016年1月	東京	JX-ENEOS	デンソー	シャンソン化粧品	富士通
81	平成26年度 2015年1月	東京	JX-ENEOS	デンソー	富士通	トヨタ自動車
80	平成25年度 2014年1月	東京	JX-ENEOS	トヨタ自動車	三菱電機	富士通
79	平成24年度 2013年1月	東京	トヨタ自動車	JX	富士通	シャンソン化粧品
78	平成23年度 2012年1月	東京	JX	デンソー	シャンソン化粧品	トヨタ自動車
77	平成22年度 2011年1月	東京	JX	富士通	デンソー	トヨタ自動車
76	平成21年度 2010年1月	東京	JOMO	トヨタ自動車	富士通	日本航空
75	平成20年度 2009年1月	東京	JOMO	富士通	トヨタ自動車	シャンソン化粧品
74	平成19年度 2008年1月	東京	富士通	JOMO	シャンソン化粧品	トヨタ自動車
73	平成18年度 2007年1月	東京	富士通	シャンソン化粧品	JOMO	トヨタ自動車
72	平成17年度 2006年1月	東京	富士通	シャンソン化粧品	日本航空	JOMO
71	平成16年度 2005年1月	東京	日本航空	シャンソン化粧品	JOMO	トヨタ自動車
70	平成15年度 2004年1月	東京	ジャパンエナジー	富士通	シャンソン化粧品	トヨタ自動車
69	平成14年度 2003年1月	東京	ジャパンエナジー	シャンソン化粧品	日本航空	トヨタ自動車
68	平成13年度 2002年1月	東京	ジャパンエナジー	シャンソン化粧品	日本航空	デンソー
67	平成12年度 2001年1月	東京	ジャパンエナジー	シャンソン化粧品	三菱電機	日本航空
66	平成11年度 2000年1月	東京	シャンソン化粧品	ジャパンエナジー	トヨタ自動車	デンソー
65	平成10年度 1999年1月	東京	ジャパンエナジー	シャンソン化粧品	デンソー	日本体育大学
64	平成9年度 1998年1月	東京	ジャパンエナジー	シャンソン化粧品	第一勧業銀行	ユニチカ
63	平成8年度 1997年1月	東京	ジャパンエナジー	シャンソン化粧品	デンソー	東芝
62	平成7年度 1996年1月	東京	シャンソン化粧品	ジャパンエナジー	積水化学	三菱電機
61	平成6年度 1995年1月	千葉	ジャパンエナジー	シャンソン化粧品	第一勧業銀行	愛知学泉大学
60	平成5年度 1994年1月	東京	シャンソン化粧品	ジャパンエナジー	愛知学泉大学	第一勧業銀行
59	平成4年度 1993年1月	東京	シャンソン化粧品	日鉱共石	三洋電機	東芝
58	平成3年度 1992年1月	東京	シャンソン化粧品	共同石油	日本航空	三洋電機
57	平成2年度 1991年1月	東京	シャンソン化粧品	共同石油	日立戸塚	三菱電機
56	平成元年度 1990年1月	東京	共同石油	シャンソン化粧品	日本電気	第一勧業銀行
55	昭和63年度 1989年1月	東京	東芝	共同石油	シャンソン化粧品	日本通運
54	昭和62年度 1988年1月	東京	共同石油	東芝	日本電気	日本通運
53	昭和61年度 1987年3月	東京	シャンソン化粧品	東芝	共同石油	日立戸塚
52	昭和60年度 1986年3月	東京	シャンソン化粧品	東芝	日立戸塚	共同石油
51	昭和59年度 1985年3月	東京	シャンソン化粧品	共同石油	東芝	日本体育大学
50	昭和58年度 1984年1月	東京	シャンソン化粧品	東芝	共同石油	日立戸塚
49	昭和57年度 1983年1月	東京	共同石油	シャンソン化粧品	ユニチカ	東芝
48	昭和56年度 1982年1月	東京	共同石油	シャンソン化粧品	第一勧業銀行	ユニチカ
47	昭和55年度 1981年1月	東京	第一勧業銀行	日立戸塚	シャンソン化粧品	共同石油
46	昭和54年度 1980年1月	東京	ユニチカ	共同石油	第一勧業銀行	シャンソン化粧品
45	昭和53年度 1979年1月	東京	共同石油	ユニチカ	第一勧業銀行	シャンソン化粧品
44	昭和52年度 1978年1月	東京	ユニチカ	三菱電機名古屋	シャンソン化粧品	共同石油

回	年	開催地	1位	2位	3位	4位
43	昭和51年度 1977年1月	東京	日立戸塚	ユニチカ山崎	日立甲府	共同石油
42	昭和50年度 1976年1月	東京	日立戸塚	ユニチカ山崎	第一勧業銀行	日本体育大学
41	昭和49年度 1975年1月	神戸	ユニチカ山崎	第一勧業銀行	日立戸塚	三菱電機名古屋
40	昭和48年度 1974年1月	東京	第一勧業銀行	ユニチカ山崎	日本体育大学	ユニチカ宇治
39	昭和47年度 1973年1月	東京	第一勧業銀行	ユニチカ山崎	日立戸塚	ユニチカ宇治
38	昭和46年度 1972年1月	東京	ユニチカ山崎	第一勧業銀行	ユニチカ宇治	日本女子体育大学
37	昭和45年度 1971年1月	東京	ユニチカ山崎	日本勧業銀行	三菱電機名古屋	ユニチカ宇治
36	昭和44年度 1970年1月	東京	ユニチカ山崎	ユニチカ宇治	日本勧業銀行	三菱電機名古屋
35	昭和43年度 1969年1月	東京	ニチボー平野	日本勧業銀行	日本体育大学	日本レイヨン
34	昭和42年度 1968年1月	東京	ニチボー平野	日本レイヨン	日本興業銀行	日本勧業銀行
33	昭和41年度 1967年1月	東京	ニチボー平野	日本興業銀行	日本体育大学	日本レイヨン
32	昭和40年度 1966年1月	東京	ニチボー平野	三菱電機名古屋	日本興業銀行	安城学園短期大学
31	昭和39年度 1965年1月	東京	ニチボー平野	三菱電機名古屋	日本レイヨン	東洋レイヨン瀬田
30	昭和38年度 1964年1月	東京	三菱電機名古屋	大日本紡績平野	日本レイヨン	日本通運
29	昭和37年度 1963年1月	東京	大日本紡績平野	三菱電機名古屋	日本通運	日本興業銀行
28	昭和36年度 1962年1月	東京	大日本紡績平野	東京芝浦電気	日本興業銀行	東洋レイヨン瀬田
27	昭和35年度 1961年1月	東京	日本興業銀行	大日本紡績平野	三井生命	三菱電機名古屋
26	昭和34年度 1960年1月	東京	大日本紡績平野	日本興業銀行	三井生命	日本レイヨン宇治
25	昭和33年度 1959年1月	東京	東京芝浦電気	大日本紡績平野	日本興業銀行	三井生命
24	昭和32年度 1958年1月	東京	大日本紡績平野	三井生命	日本興業銀行	東京芝浦電気
23	昭和31年度 1957年1月	東京	日本興業銀行	北芝電機	三井生命	東京芝浦電気
22	昭和30年度 1956年1月	東京	三井生命	北芝電機	浦和第一高女	日本興業銀行
21	昭和29年度 1955年1月	東京	東京芝浦電気	三井生命	北芝クラブ	染谷が丘女高ク
20	昭和28年度 1954年1月	東京	日本興業銀行	就実高	平沼高	染谷が丘女高ク
19	昭和27年度 1953年1月	東京	染谷が丘女高ク	日本興業銀行	大日本紡績大版	全三井生命
18	昭和26年度 1952年1月	東京	染谷が丘女高ク	お茶の水女大附高	栃木女子高	大日本紡績大阪
17	昭和25年度 1951年1月	神戸	染谷が丘女高ク	栃木女子高	西大寺クラブ	函館女高クラブ
16	昭和24年度 1950年1月	東京	浦和第一高女	函館女高クラブ	東京女高師附女	福島橋俱楽部
15	昭和23年度 1948年12月	新潟	福島橋俱楽部	木更津俱楽部	翠会	岡谷東高
14	昭和22年度 1947年12月	東京	木更津俱楽部	鉄興社	京都クラブ	福島橋俱楽部
13	昭和21年度 1947年1月	東京	福島橋俱楽部	静岡精華	滝野川高女ク	木更津高女俱
	昭和20年度 1946年	(中止)				
	昭和19年度 1945年	(中止)				
	昭和18年度 1944年	(中止)				
12	昭和17年度 1943年1月	東京	東京女高師附女	滝野川高女	静岡精華	簡易保険局
	昭和16年度 1942年	(中止)				
11	昭和15年度 1941年1月	東京	東京女高師附女	新潟高女	滝野川高女	福島高女
10	昭和14年度 1940年1月	東京	新潟高女	東京女高師附女	愛知第二高女	京都府第一高女
9	昭和13年度 1939年1月	東京	京都府第一高女	山陽高女	山形営業俱	新潟高女
8	昭和12年度 1938年1月	東京	簡易保険局	新潟高女	静岡精華	愛知第二高女
7	昭和11年度 1937年1月	東京	京都府二女	山陽高女	新潟高女	金沢第一高女
6	昭和10年度 1936年1月	東京	新津高女俱	木更津高女俱	静岡精華	愛知淑徳高女
5	昭和9年度 1935年1月	東京	木更津高女俱	京都府第二高女	山形営業俱	新津高女俱
4	昭和8年度 1934年1月	東京	山形営業俱	新潟高女	木更津高女	京都府第二高女
3	昭和7年度 1933年1月	東京	木更津高女	静岡精華	名古屋市立一女	三条高女
2	昭和6年度 1932年1月	東京	愛知淑徳高女	竹早クラブ	木更津高女	大館女職
1	昭和5年度 1931年2月	東京	愛知淑徳高女	アルモンド	竜ヶ崎高女	木更津高女

## Wリーグプレミア2024-25 プレーオフMVP&ベスト5



町田 瑠唯

(富士通 #10)

プレーオフMVP/初受賞

プレーオフベスト5/2年連続3回目



赤木 里帆

(富士通 #9)

初受賞

宮澤 夕貴  
(富士通 #52)  
2年連続3回目



馬瓜 エブリン  
(デンソー #0)  
2年連続3回目



高田 真希

(デンソー #8)

初受賞

東京運動記者クラブ バスケットボール分科会選出

年度	Wリーグプレーオフベスト5受賞者名(チーム名)				
2024-25	町田 瑠唯(富士通)③	赤木 里帆(富士通)①	宮澤 夕貴(富士通)③	馬瓜 エブリン(デンソー)③	高田 真希(デンソー)①
2023-24	ジョシュア・ンファンボン・テミトベ(富士通)①	町田 瑠唯(富士通)②	宮澤 夕貴(富士通)②	馬瓜 エブリン(デンソー)②	赤穂 ひまわり(デンソー)①
2022-23	長岡 萌映子(ENEOS)②	渡嘉敷 来夢(ENEOS)②	宮崎 早織(ENEOS)②	馬瓜 ステファニー(トヨタ自動車)②	山本 麻衣(トヨタ自動車)②
2021-22	山本 麻衣(トヨタ自動車)①	シラ ソハナ・ファトーブ(トヨタ自動車)①	馬瓜 ステファニー(トヨタ自動車)①	町田 瑠唯(富士通)①	篠崎 淩(富士通)①
2020-21	馬瓜 エブリン(トヨタ自動車)①	長岡 萌映子(トヨタ自動車)①	安間 志織(トヨタ自動車)①	岡本 彩也花(ENEOS)②	宮崎 早織(ENEOS)①
2018-19	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)①	岡本 彩也花(JX-ENEOS)①	宮澤 夕貴(JX-ENEOS)①	根本 葉瑠乃(三菱電機)①	渡邊 亜弥(三菱電機)①

## ■ 年間ベスト5

東京運動記者クラブ バスケットボール分科会選出

年度	受賞者名(チーム名) ○内の数字は選出回数を表す				
平成29年度2018年3月	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑨	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑦	宮澤 夕貴(JX-ENEOS)①	高田 真希(デンソー)⑦	馬瓜 エブリント(トヨタ自動車)①
平成28年度2017年3月	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑧	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑥	間宮 佑圭(JX-ENEOS)⑥	栗原 三佳(トヨタ自動車)①	高田 真希(デンソー)⑥
平成27年度2016年3月	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑦	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑤	間宮 佑圭(JX-ENEOS)⑤	町田 瑞唯(富士通)②	高田 真希(デンソー)⑤
平成26年度2015年4月	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑥	間宮 佑圭(JX-ENEOS)④	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)④	町田 瑞唯(富士通)①	高田 真希(デンソー)④
平成25年度2014年4月	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑤	間宮 佑圭(JX-ENEOS)③	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)③	高田 真希(デンソー)③	久手堅 笑美(トヨタ自動車)②
平成24年度2013年3月	大神 雄子(JX)⑦	渡嘉敷 来夢(JX)②	吉田 亜沙美(JX)④	間宮 佑圭(JX)②	久手堅 笑美(トヨタ自動車)①
平成23年度2012年3月	大神 雄子(JX)⑥	吉田 亜沙美(JX)③	間宮 佑圭(JX)①	川原 麻耶(トヨタ自動車)①	高田 真希(デンソー)②
平成22年度2011年6月	大神 雄子(JX)⑤	吉田 亜沙美(JX)②	岩村 裕美(日本航空)②	渡嘉敷 来夢(JX)①	高田 真希(デンソー)①
平成21年度2010年3月	大神 雄子(JOMO)④	諏訪 裕美(JOMO)①	吉田 亜沙美(JOMO)①	矢野 良子(トヨタ自動車)⑦	池田 麻美(トヨタ自動車)①
平成20年度2009年3月	大神 雄子(JOMO)③	山田 久美子(JOMO)②	田中 利佳(JOMO)②	相澤 優子(シャンソン化粧品)④	矢野 良子(富士通)⑥
平成19年度2008年3月	矢野 良子(富士通)⑤	三谷 藍(富士通)②	船引 かおり(富士通)①	大神 雄子(JOMO)②	田中 利佳(JOMO)①
平成18年度2007年3月	大神 雄子(JOMO)①	山田 久美子(JOMO)①	矢野 良子(富士通)④	三谷 藍(富士通)①	永田 瞳子(シャンソン化粧品)⑪
平成17年度2006年3月	永田 瞳子(シャンソン化粧品)⑩	相澤 優子(シャンソン化粧品)③	矢代 直美(日本航空)②	岩村 裕美(日本航空)①	矢野 良子(富士通)③
平成16年度2005年3月	永田 瞳子(シャンソン化粧品)⑨	相澤 優子(シャンソン化粧品)②	河 恩珠(シャンソン化粧品)①	薮内 夏美(日本航空)③	矢代 直美(日本航空)①
平成15年度2004年3月	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑨	矢野 良子(ジャパンエナジー)②	永田 瞳子(シャンソン化粧品)⑧	薮内 夏美(日本航空)②	相澤 優子(富士通)①
平成14年度2003年3月	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑧	大山 妙子(ジャパンエナジー)④	川上 香穂里(ジャパンエナジー)②	永田 瞳子(シャンソン化粧品)⑦	薮内 夏美(日本航空)①
平成13年度2002年3月	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑦	大山 妙子(ジャパンエナジー)③	川上 香穂里(ジャパンエナジー)①	永田 瞳子(シャンソン化粧品)⑥	岡里 明美(シャンソン化粧品)①
平成12年度2001年3月	金 銀暎(三菱電機)①	大山 妙子(ジャパンエナジー)②	矢野 良子(ジャパンエナジー)①	永田 瞳子(シャンソン化粧品)⑤	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑥
平成11年度2000年3月	永田 瞳子(シャンソン化粧品)④	加藤 貴子(シャンソン化粧品)⑧	三木 聖美(シャンソン化粧品)①	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑤	大山 妙子(ジャパンエナジー)①
平成10年度1999年3月	濱口 典子(ジャパンエナジー)④	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)⑦	永田 瞳子(シャンソン化粧品)③	村上 瞳子(シャンソン化粧品)⑧	加藤 貴子(シャンソン化粧品)⑦
平成9年度1998年3月	加藤 貴子(シャンソン化粧品)⑥	村上 瞳子(シャンソン化粧品)⑦	永田 瞳子(シャンソン化粧品)②	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)⑥	濱口 典子(ジャパンエナジー)③
平成8年度1997年3月	川崎 真由美(ジャパンエナジー)①	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)⑤	濱口 典子(ジャパンエナジー)②	村上 瞳子(シャンソン化粧品)⑥	永田 瞳子(シャンソン化粧品)①
平成7年度1996年3月	村上 瞳子(シャンソン化粧品)⑤	一乗 アキ(シャンソン化粧品)④	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)④	加藤 貴子(シャンソン化粧品)⑤	濱口 典子(ジャパンエナジー)①
平成6年度1995年3月	村上 瞳子(シャンソン化粧品)④	原田 裕花(ジャパンエナジー)⑤	加藤 貴子(シャンソン化粧品)④	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)③	山田 かがり(シャンソン化粧品)①
平成5年度1994年3月	村上 瞳子(シャンソン化粧品)③	原田 裕花(ジャパンエナジー)④	加藤 貴子(シャンソン化粧品)③	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)②	一乗 アキ(シャンソン化粧品)③
平成4年度1993年3月	一乗 アキ(シャンソン化粧品)②	村上 瞳子(シャンソン化粧品)②	加藤 貴子(シャンソン化粧品)②	萩原 美樹子(日鉱共石)①	クラレッサ・デービス(日鉱共石)①
平成3年度1992年1月	村上 瞳子(シャンソン化粧品)①	一乗 アキ(シャンソン化粧品)①	原田 裕花(共同石油)③	二見 由美子(日本航空)②	タミー・ジャクソン(シャンソン化粧品)①
平成2年度1991年1月	テレサ・エドワーズ(三菱電機)①	増田 安世(共同石油)①	加藤 貴子(シャンソン化粧品)①	黒田 麻由美(日立戸塚)①	原田 裕花(共同石油)②
平成元年度1990年1月	カタリーナ・マックレイン(共同石油)③	原田 五月(共同石油)④	山城 定子(シャンソン化粧品)①	原田 裕花(共同石油)①	メディナ・ディクソン(日本電気)①
昭和63年度1989年1月	原田 五月(共同石油)③	佐藤 香代子(東芝)①	シェリー・ベネファーザ(日本通運)①	カタリーナ・マックレイン(共同石油)②	シンディ・ブラウン(東芝)①
昭和62年度1988年1月	原田 五月(共同石油)②	カタリーナ・マックレイン(共同石油)①	近石 香緒理(東芝)②	高谷 やす子(シャンソン化粧品)③	二見 由美子(筑波大)①
昭和61年度1987年3月	久保田 久美(シャンソン化粧品)④	アン・ドノバーン(シャンソン化粧品)④	高谷 やす子(シャンソン化粧品)②	近石 香緒理(東芝)①	竹山 とよ子(共同石油)④
昭和60年度1986年3月	久保田 久美(シャンソン化粧品)③	アン・ドノバーン(シャンソン化粧品)③	高谷 やす子(シャンソン化粧品)①	シェイ・テーラー(東芝)①	竹山 とよ子(共同石油)③
昭和59年度1985年3月	久保田 久美(シャンソン化粧品)②	アン・ドノバーン(シャンソン化粧品)②	鈴木 弘美(シャンソン化粧品)①	熊谷 繁子(共同石油)④	原田 五月(共同石油)①
昭和58年度1984年1月	大山 春美(シャンソン化粧品)③	アン・ドノバーン(シャンソン化粧品)①	久保田 久美(シャンソン化粧品)①	シンディ・ノーブル(東芝)①	熊谷 繁子(共同石油)③
昭和57年度1983年1月	阿部 秀子(共同石油)②	熊谷 繁子(共同石油)②	大山 春美(シャンソン化粧品)②	積田 洋子(シャンソン化粧品)①	大谷 利恵子(ユニチカ)①
昭和56年度1982年1月	竹山 とよ子(共同石油)②	阿部 秀子(共同石油)①	熊谷 繁子(共同石油)①	荒家 晶子(シャンソン化粧品)①	大山 春美(シャンソン化粧品)①
昭和55年度1981年1月	高橋 節子(第一勵業銀行)①	中川 弘子(第一勵業銀行)①	森下 みゆき(第一勵業銀行)①	鈴木 真理(日立戸塚)①	竹山 とよ子(共同石油)①
昭和54年度1980年1月	鈴木 紀子(共同石油)②	荒木 恵子(共同石油)③	福井 美恵子(ユニチカ)④	佐藤 千恵美(ユニチカ)②	渋川 友子(第一勵業銀行)①
昭和53年度1979年1月	鈴木 紀子(共同石油)①	荒木 恵子(共同石油)②	福井 美恵子(ユニチカ)③	佐藤 千恵美(ユニチカ)①	松岡 美保(ユニチカ)③
昭和52年度1978年1月	松岡 美保(ユニチカ)②	福井 美恵子(ユニチカ)②	竹本 とみ子(三菱電機名古屋)①	荒木 恵子(共同石油)①	清水 京子(第一勵業銀行)①
昭和51年度1977年1月	宮本 輝子(ユニチカ山崎)③	大塚 宮子(日立戸塚)②	林田 和代(日立戸塚)②	福井 美恵子(ユニチカ山崎)①	松岡 美保(ユニチカ山崎)①
昭和50年度1976年1月	大塚 宮子(日立戸塚)①	宮本 輝子(ユニチカ山崎)②	橋本 きみ子(第一勵業銀行)②	林田 和代(日立戸塚)①	青沼 令子(ユニチカ山崎)①
昭和49年度1975年1月	生井 けい子(日本体育大職員)②	脇田代 喜美(ユニチカ山崎)④	宮本 輝子(ユニチカ山崎)①	佐竹美佐子(第一勵業銀行)③	橋本 きみ子(第一勵業銀行)①
昭和48年度1974年1月	羽根川 洋子(第一勵業銀行)②	佐竹 美佐子(第一勵業銀行)②	山本 幸代(ユニチカ山崎)②	脇田代 喜美(ユニチカ山崎)③	生井 けい子(日本体育大4年)①
昭和47年度1973年1月	羽根川 洋子(第一勵業銀行)①	佐竹 美佐子(第一勵業銀行)①	脇田代 喜美(ユニチカ山崎)②	山本 幸代(ユニチカ山崎)①	福島 小百合(日立戸塚)①
昭和45年度1971年1月	黄蘭子(ユニチカ山崎)③	脇田代 喜美(ユニチカ山崎)①	熊谷 栄子(ユニチカ山崎)①	坪井 妙子(ユニチカ山崎)②	前田 洋子(ユニチカ山崎)②
昭和44年度1970年1月	岩本 栄子(ユニチカ山崎)②	新垣 たけ子(日本勵業銀行)③	黄蘭子(ユニチカ山崎)②	江守 良子(ユニチカ宇治)②	横山 アサ子(東芝)①
昭和43年度1969年1月	黄蘭子(ニチボーライ)①	黒田 洋子(日本体育大)①	新垣 たけ子(日本勵業銀行)②	江守 良子(日本レイヨン)①	岩本 栄子(ニチボーライ)①
昭和42年度1968年1月	新垣 たけ子(日本勵業銀行)①	柳 登美子(ニチボーライ)①	前田 洋子(ニチボーライ)①	門脇 裕子(日本レイヨン)①	坪井 妙子(ニチボーライ)①

## FIBA女子アジアカップ2025

2025年7月13日～20日／中国・深圳

## 再起のきっかけとなる銀メダル獲得



## ■スタッフ

役職	名前	所属
チームリーダー	小栗 弘	JBA
ヘッドコーチ	コーリー・ゲインズ	JBA
アシstantコーチ	宮田 知己	JBA
アナライジングコーチ	伊藤 恭子	デンソー アイリス
通訳	下條 海	JBA
スポーツパフォーマンスコーチ	臼井 智洋	JBA
アスレティックトレーナー	荻野 まゆみ	JBA
アスレティックトレーナー	小川 未央	JBA
チームマネージャー	古海 五月	JBA
チームマネージャー	小松 佳緒里	ENEOSサンフラワーズ
テクニカルスタッフ	有賀 早希	富士通 レッドウェーブ
ドクター	小松 孝行	順天堂大学医学部スポーツ医学研究室

ポジション(P)表記: PG=ポイントガード、SG=シューティングガード、SF=スマールフォワード、PF=パワーフォワード、C=センター ※身長はcm ※年齢・所属は2025年7月7日現在

## FIBA U16女子アジアカップ2025

2025年9月22日～28日／マレーシア・スレンバン

## 堂々の銅メダル! 竹内みやがMVPに

日本は準決勝でニュージーランドに競り負け3位決定戦に回ったが、最後は中国に勝利して堂々の銅メダルフィニッシュ。大会1位の平均19.4得点を記録した竹内みや(桜花学園高2年)は、みごとMVPに輝いた。



## 最終順位

位次	国名	試合結果
1位	オーストラリア	グループフェーズ(グループB)
2位	ニュージーランド	9月22日 日本132-31シリア
3位	日本	9月23日 中国57-78日本
4位	中国	9月24日 日本76-72ニュージーランド
		日本は3勝のグループB1位で準決勝へ
		9月27日 準決勝 日本64-68ニュージーランド
		9月28日 3位決定戦 中国58-71日本



## FISUワールドユニバーシティゲームズ2025

7月16日～27日／ドイツ・ラインルール

## 価値ある5位入賞

前回大会を含め過去に2度銀メダル獲得に成功している日本。ヨーロッパ勢を中心に各国のレベルアップが著しい中での5位は健闘と言つていいだろう。世界レベルの育成を加速させる経験となつたはずだ。

大会6連覇が懸かったFIBA女子アジアカップ2025は、パリ2024オリンピックを経て立て直しを図る女子日本代表にとって新たな船出の舞台。コーリー・ゲインズHCの下、新チームは中国との準決勝を含め連日の接戦を勝ち切って銀メダルにたどり着いた。はつらつとしたプレーでチームを鼓舞した田中こころは、オールスターファイブに選出された。

## 最終順位

位次	国名
1位	オーストラリア
2位	日本
3位	中国
4位	韓国

## 試合結果

日付	対戦相手	結果
7月13日	日本	72-68レバノン
7月14日	フィリピン	82-85日本
7月15日	韓国	67-79オーストラリア
		日本は2勝1敗のグループB2位で準決勝進出決定戦へ
7月18日	準決勝進出決定戦	日本77-62ニュージーランド
7月19日	準決勝	中国81-90日本
7月20日	決勝	オーストラリア88-79日本

## ■選手

#	名前	P	身長	年齢	所属
2	今野 芬花	SG	179	25歳	デンソー アイリス
3	馬瓜 ステファニー	SF	182	26歳	CASADEMONT ZARAGOZA
4	川井 麻衣	PG	171	29歳	デンソー アイリス
8	高田 真希	PF	185	35歳	デンソー アイリス
10	渡嘉敷 来夢	C	193	34歳	アイシン ウィングス
26	田中 こころ	PG	172	19歳	ENEOSサンフラワーズ
37	萩 未奈海	SF/SG	178	20歳	デンソー アイリス
52	宮澤 夕貴	PF	183	32歳	富士通 レッドウェーブ
59	星 杏璃	SG	171	25歳	ENEOSサンフラワーズ
75	東藤 なな子	SG/PG	175	24歳	トヨタ紡織サンシャインラビッツ
77	栗林 未和	C	188	26歳	東京羽田ヴィッキーズ
99	オコエ 桃仁花	PF	183	26歳	ENEOSサンフラワーズ

## FIBA U19女子ワールドカップ2025

2025年7月12日～20日／チェコ・ブルノ

## 4大会ぶりの4強入りならず6位に

スペイン、カナダ、フランスと近年のトップ10をにぎわす強豪国に勝ち切れなかった日本。4大会ぶりのベスト4進出はならなかつたが、チェコとアルゼンチン、5-8位決定戦でハンガリーに勝利して6位で大会を終えた。



## 最終順位

位次	国名
1位	アメリカ
2位	オーストラリア
3位	スペイン
4位	カナダ
6位	日本

## 試合結果

日付	対戦相手	結果
7月13日	チェコ	50-65日本
7月14日	スペイン	54-69日本
7月16日	アルゼンチン	83-44日本
		日本は2勝1敗のグループD2位で準々決勝へ
7月18日	準々決勝	カナダ85-65日本
7月19日	5-8位決定戦	ハンガリー76-78日本
7月20日	5位決定戦	フランス76-64日本

## 最終順位

位次	国名
1位	中国
2位	アメリカ
3位	ハンガリー
4位	ポーランド
5位	日本

## 試合結果

日付	対戦相手	結果
7月18日	リトアニア	83-101日本
7月19日	ブラジル	63-86日本
7月20日	ハンガリー	79-71日本
		日本は2勝1敗のグループC2位で準々決勝へ
7月22日	準々決勝	日本70-75中国
7月23日	5-8位決定戦	チエコ77-84日本
7月25日	5位決定戦	ポルトガル47-71日本



## 価値ある5位入賞

前回大会を含め過去に2度銀メダル獲得に成功している日本。ヨーロッパ勢を中心に各国のレベルアップが著しい中での5位は健闘と言つていいだろう。世界レベルの育成を加速させる経験となつたはずだ。

## FIBA 3x3 アジアカップ2025

2025年3月26日～30日／シンガポール

### 初選出の4人で 史上最高成績となる銀メダル！

Wリーグプレーヤーがない、全員初選出の4人で臨んだFIBA 3x3 アジアカップ2025は、あらゆる意味で大きな挑戦だった。しかし日本は順調に勝ち進み、初の銀メダル獲得に成功した。オフェンスの中心としてチームをけん引した高橋美由子は、平均7.8得点で大会1位。女子3x3界全体に勢いをもたらす輝かしい成績だった。



## FIBA 3x3 ワールドカップ2025

2025年6月23日～29日／モンゴル・ウランバートル

### 強豪オランダを倒し 過去最高成績タイの9位に

今大会での日本は、最終的に王座に就くオランダとの初戦にノックアウト勝ちするなど、過去最高成績に並ぶ9位という最終順位以上に大きな成果をつかむことができた。高橋美由子以外の3人と鶴見彩というメンバーで直前に出場したFIBA 3x3 ウィメンズシリーズのジャカルタストップでも初優勝。世界を驚かせる戦いぶりだった。

最終順位		試合結果	
1位 オランダ		グループフェーズ(プールB)	
2位 モンゴル	6月24日	オランダ16-21日本	
3位 カナダ		日本21-12チリ	
4位 ポーランド	6月26日	日本8-21アメリカ	
9位 日本		チェコ18-21日本	

日本は3勝1敗のプールB2位で準々決勝進出決定戦へ  
6月27日 準々決勝進出決定戦 日本6-18カナダ

### ■スタッフ

役職	名前	所属	備考
ヘッドコーチ	前田 有香	JBA	WC
コーチ	伊集 南	株式会社デンソー	AC
アスレティックトレーナー	岡本 香織	JBA	
アスレティックトレーナー	村木 亮子	JIN整形外科スポーツクリニック	
チームマネージャー	稻葉 一政	JBA	
サポートスタッフ	佐藤 博翔	桐蔭横浜大学	
サポートスタッフ	仲上 真央	早稲田大学	
サポートスタッフ	エルマコーラ 未亜	日本体育大学	AC
サポートスタッフ	川崎 碧斗	中京大学	WC
サポートスタッフ	伊地知 さら	日本体育大学	WC

※AC=アジアカップのみ登録/WC=ワールドカップのみ登録

### ■選手

#	名前	身長	年齢	所属
3	高橋 美由子	163	30歳	FLOWLISH GUNMA
5	鶴見 彩	165	32歳	MAURICE LACROIX
10	西 フットウマ七南	175	21歳	早稲田大学
12	野口 佑季	173	28歳	boldiiies

※年齢・所属は2025年3月12日現在

### 最終順位

1位 オーストラリア
2位 日本
3位 中国
4位 フィリピン

### 試合結果

グループフェーズ(プールC)	
3月28日	日本22-6シンガポール
	日本17-10ベトナム
	日本は2勝のプールC1位で準々決勝へ
3月30日	準々決勝
	日本21-11韓国
	準決勝
	フィリピン9-22日本
	決勝
	オーストラリア21-17日本

### ■選手

#	名前	身長	年齢	所属
3	高橋 美由子	163	30歳	FLOWLISH GUNMA
7	高橋 未来	169	24歳	アイシン ウィングス
18	宮下 希保	178	26歳	富士通 レッドウェーブ
25	桂 葵	182	32歳	トヨタ紡織 サンシャインラビッツ/ZOOS

※年齢・所属は2025年6月11日現在



## FIBA 3x3 U23ワールドカップ2025

2025年9月17日～21日／中国・雄安

### 今後につながるベスト4進出



グループフェーズを無傷の4連勝で乗り切った日本は、準々決勝でもポーランドに快勝。準決勝で最終的に王座に就くオランダとの接戦を落とし、続く3位決定戦でもスペインの前に力尽きたことで、金メダルを獲得した2019年以来のメダル獲得に至らなかったのは悔しいが、6年ぶりのベスト4進出は高く評価できる成果だ。

### 最終順位

1位 オランダ
2位 フランス
3位 スペイン
4位 日本

### 試合結果

グループフェーズ(プールA)	
9月17日	日本22-11エジプト
	チャイニーズ・タイペイ18-20日本
9月19日	日本20-19中国
	イタリア18-19日本
9月21日	日本は4勝の1位で準々決勝へ
	準々決勝
	日本17-11ポーランド
	準決勝
	日本18-20オランダ
	3位決定戦
	日本12-18スペイン

# 皇后杯

EMPRESS'S CUP  
BASKETBALL 2025-26

## 第92回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会 —— ファイナルラウンド ——

### 大会概要

主 催	公益財団法人日本バスケットボール協会
共 催	共同通信社
主 管	公益財団法人日本バスケットボール協会
後 援	NHK
協 賛	三井不動産株式会社 ジョーダン ブランド 株式会社モルテン 三井住友信託銀行株式会社 ソフトバンク株式会社
日 程	2026年1月5日(月)～11日(日) ※7日(水)、10日(土)はレストデー
会 場	国立代々木競技場第一体育館・第二体育館・駒沢体育館
大 会 方 式	トーナメント戦によるノックアウト方式とする。
組み合わせ	大会実施委員会の責任抽選にて、対戦を確定するものとする。
競 技 規 則	開催時における最新のバスケットボール競技規則で実施する。 ※現状においては「2025バスケットボール競技規則 (Official Basketball Rules 2024)」を最新とする。

### 出場資格(チーム)

2025年度において当該都道府県の下記カテゴリー・チーム区分にチーム登録されているチーム (JBA登録区分に基づく) であること。  
・一般(I種)カテゴリー  
・U18カテゴリー

### ファイナルラウンド出場チーム数

・ブロック代表枠  
原則、当該年度の11月までにブロックラウンド(9ブロック)を開催し、各ブロック1枠ずつ  
・社会人推薦枠  
前シーズンの成績(高松宮記念杯 全日本社会人バスケットボールプレミアムチャンピオンシップ優勝・準優勝チーム)に1枠ずつ  
・大学推薦枠  
前年度の全日本大学バスケットボール選手権大会優勝チームが所属する地区の当該年度の選手権大会(春季大会)上位3チームに1枠ずつ  
・トップリーグ推薦枠(Wリーグ)  
前シーズンの成績を基にWプレミア:8枠、Wフューチャー:2枠

### 参加資格

- 2025年度においてJBAに選手登録された選手であること。
- 外国人選手は、JBA基本規程第110条に基づいて登録された選手であること。
- 帰化選手は満16歳となった後に国籍法に基づく帰化によって日本国籍を取得した選手であること。

### チーム編成

- チーム編成はスタッフ9名以内、選手16名以内の計25名以内とする。
- ベンチで指揮を執るコーチはJBAが定めるコーチライセンスの適用基準において必要な資格を保有していること。
- 選手は、大会申し込み時に選択(エントリー)したチームのみに出場できる。  
※ファーストラウンド(都道府県ラウンド)で選手登録をしたチームでのみ出場ができる。  
※ラウンド毎に選手登録するチームが変わることは不可とする。(同ラウンド中も変更は不可)
- 選手登録および大会エントリーができる外国籍選手数は、1チーム合計2名までとし、帰化選手は、外国籍選手とは別に1名まで選手登録できる。また、試合中同時にコート上でプレーできる外国籍選手数は、試合を通して1チーム合計1名までとする。帰化選手は、試合を通してコート上でプレーできる人数は1名までとし、常時、外国籍選手1名と同時にプレーすることができる。延長時間においても同様に取り扱う。

### CONTENTS

- 3 ごあいさつ
- 5 天皇杯・皇后杯について
- 7 皇后杯2025-26 ファイナルラウンド展望
- 11 ファイナルラウンド 組み合わせ

#### +出場チーム紹介

- 12 アイシン ウィングス
- 13 福岡大学附属若葉高等学校
- 14 北翔大学
- 15 東京医療保健大学
- 16 滋賀銀行LakeVenus
- 17 デンソー アイリス
- 18 富士通 レッドウェーブ
- 19 福井工業大学附属福井高等学校
- 20 白鷗大学
- 21 東京羽田ヴィッキーズ
- 22 今治オレンジブロッサム
- 23 トヨタ紡織 サンシャインラビッツ
- 24 シャンソン化粧品 シャンソンVマジック
- 25 四日市メリノール学院高等学校
- 26 山形銀行
- 27 山梨学院大学
- 28 笠戸ブレイブスター
- 29 トヨタ自動車 アンテロープス
- 30 日立ハイテク クーガーズ
- 31 江戸川大学
- 32 ミツウロコ
- 33 三菱電機 コアラーズ
- 34 秋田銀行
- 35 ENEOSサンフラワーズ

#### +大会記録

- 36 皇后杯 過去の大会記録
- 41 年次記録
- 44 AKATSUKI JAPAN 女子日本代表活動レポート

※本プログラムに掲載のWリーグの成績データは特別な記載のない場合、2025年12月7日時点のものとなります。

発行元	公益財団法人日本バスケットボール協会 (JBA) 〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-27 後楽鹿島ビル6階 TEL(03)4415-2020
編集者	天皇杯・皇后杯 大会実施委員会
発行日	2026年1月5日
制作	月刊バスケットボール
デザイン	自録舎
写真	JBA／W LEAGUE／月刊バスケットボール

# 天皇杯 皇后杯

EMPEROR'S CUP AND EMPRESS'S CUP  
BASKETBALL 2025-26

## 第101回天皇杯・第92回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会 オフィシャルグッズ

公式オンラインストアにて販売中 !!



Tシャツ  
¥3,900



ロングTシャツ  
¥4,900



フーディ  
¥6,900



マフラータオル  
¥2,500



フェイスタオル  
¥2,200



ハンドタオル  
¥1,300



ペアキーチェーン  
¥2,300



アクリルキーホルダー  
¥800



エコバック  
¥2,000



缶バッヂ 2個セット  
¥900

店舗限定



おこげ煎餅入り巾着  
¥1,300

店舗限定



プリントクッキー  
¥1,200

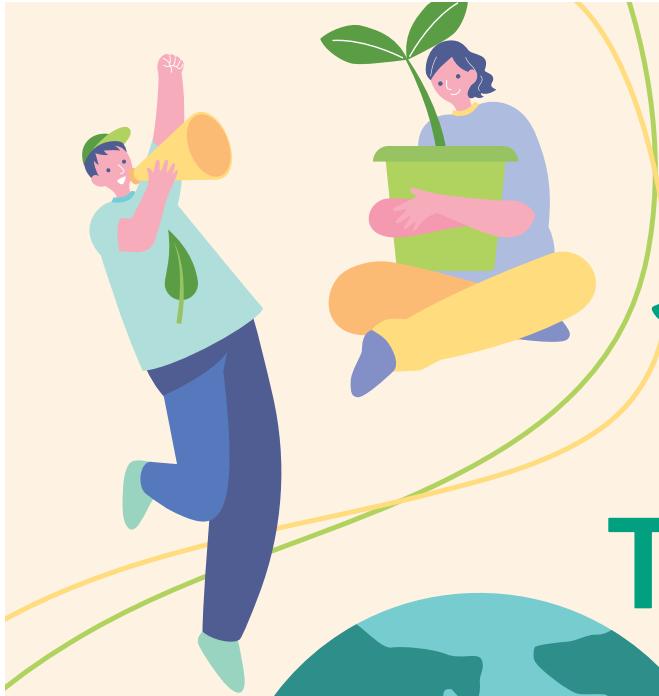
オフィシャルグッズ  
特設ページはこちら



**JBA**  
JAPAN BASKETBALL ASSOCIATION



OFFICIAL STORE  
A Fanatics Experience



環境を守る  
スポーツを守る  
未来を守る

TEAM JAPAN!

来たときよりもきれいに！



公益財団法人日本オリンピック委員会  
Japanese Olympic Committee